

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（513）

2. 日時：令和5年5月11日 13時30分～15時35分  
15時50分～16時25分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江崎企画調査官※、宮本上席安全審査官※、

藤原主任安全審査官、伊藤安全審査官、平本安全審査専門職、

谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他9名

原子力事業統括部 部長（土木建築担当）※、他1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第4条 地震による損傷の防止（DB04 r. 3. 14）
- （3）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第4条 地震による損傷の防止（施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針））
- （4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第4条 地震による損傷の防止（施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針））
- （5）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第4条 地震による損傷の防止（施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁藤原です。それでは時間になりましたので泊発電所3号炉の施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針についての説明を事業所の方からしてください。
0:00:15	はい。北海道電力の金子でございます。
0:00:17	当施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針ということで資料1-1パワーポイントを用いてご説明いたします。
0:00:26	まず初めに資料構成なんですけれども、前半の14ページまでが審査会合における指摘。
0:00:34	回答。
0:00:36	になってまして。
0:00:38	またそのそれ以降に参考として、
0:00:42	前回2月の2月に27ヒアリングで全体の
0:00:47	論理構成を説明することというそういったコメントをいただきましたので、
0:00:52	その後ろに参考として、
0:00:56	評価方針を全体を、
0:00:59	意識付けさせていただいております。まず、
0:01:03	本日はまずこの参考としているこの全体の流れを一通り説明した後、
0:01:10	審査会合での、
0:01:12	は指摘回答の、
0:01:14	スライドを説明させていただきます。
0:01:18	まずう。
0:01:20	16、パワーポイント16ページお願いいたします。
0:01:26	1章1ポツの液状化評価の基本方針というところで、
0:01:31	一条家影響に関する検討は、この左に示してますフローに従って実施いたします。
0:01:40	で、
0:01:41	フローは等に、まず2章で検討対象層の抽出をしまして、3章で対処検討対象施設の抽出、
0:01:50	4章で、強度試験の試料採取位置選定とその代表性。
0:01:54	5章で試験液状化試験結果と強度特性の設定。
0:02:00	6処理場会計の検討方針という流れになっております。
0:02:04	続いて17ページお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:07	まず液状化、2章液状化検討対象層の抽出ですけれども、
0:02:13	テキストボックス、
0:02:15	まず、AA、
0:02:17	に示してますと宇井と泊発電所の埋め立て地盤については、敷地造成時に発生した掘削岩砕からなる埋め立て地盤が主体でありまして、施工時期材料によって12号埋戻し動産後埋戻し同に区分されます。
0:02:32	また岸壁及び津波防護施設前面には、沖積層に相当する砂層砂礫層及び粘土シルト層、
0:02:39	が分布してございます。
0:02:40	砂層につきましてはNGの大きさにより、スワンベースつに分類しまして、そのそれぞれで解析用物性値を設定いたします。
0:02:50	18ページではその埋戻し動及び砂層の分布について地質断面図を示してございます。
0:02:58	19ページをお願いいたします。
0:03:00	藤液状化検討対象層の選定、
0:03:04	につきましては、
0:03:05	道路供試褒賞に基づいて行ってまして、
0:03:09	地下水以深の12号埋戻し動産埋戻し動、
0:03:13	及び砂層及び砂礫層を対象層として選定いたします。
0:03:18	また道路供試本署においては対象外となります。GL-20メートル以深の飽和度そうですとか平均粒径10mm以上の報道についても、評価対象と、
0:03:29	しています。
0:03:30	また粘土シルト層につきましては、日本建築学会等鉄道総研による液状化検討対象の考え方、過年度分含有率、
0:03:39	等も確認して液状化検討の対象外といたします。
0:03:45	20ページの、
0:03:47	ここ参照液状化検討対象施設の抽出ですけれども、
0:03:53	液状化検討対象施設は施設の設置状況、
0:03:56	地下水の状況に応じて選定いたします。
0:03:59	解析手法は、利用が検討対象施設に対して、周辺地盤や隣接構造物の状況等によって、
0:04:06	液状化影響を考慮して選定いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:09	1020 ページで示してますのは建物構築物における解析手法選定フローでございます、
0:04:15	このフローについては2月のヒアリングコメントを踏まえて、A判定の①②番、及びその観点を修正しています。
0:04:23	21 ページをお願いいたします。
0:04:26	と21 ページに示す。
0:04:28	てます。フローは屋外重要土木構造物及び津波防護施設。
0:04:33	等の解析手法選定フロー。
0:04:35	でありまして、
0:04:36	このフローにつきましては当審査会合での指摘を踏まえた修正点を、7 ページの方で詳細説明しますのでここではちょっと割愛いたします。
0:04:46	と22 ページお願いします。
0:04:49	藤液状化検討対象施設及び会長の選定結果について、
0:04:54	建物構築物の対象施設の選定結果を下の表の通りでありまして、すべての施設を液状化検討対象外といたします。
0:05:04	次の23 ページお願いします。
0:05:07	建物構築物以外の液状化検討対象施設の選定結果は、
0:05:13	23 ページの表の通りでありまして、屋外重要土木構造物、津波防護施設浸水防止設備を選定いたします。
0:05:21	土地評価検討対象施設の解析手法につきましては、
0:05:25	液状化による側方流動及び浮き上がりの影響を受ける可能性があるとしまして、有効応力解析を選定することといたします。
0:05:35	と24 ページをお願いしますと行き消化強度、4章では液状化強度試験の試料採取位置選定とその代表性。
0:05:42	になります。
0:05:44	藤ミヤモト指導の液状化強度試験の最終位置は、
0:05:48	ボーリングが実施可能であることを試料採取が可能な位置及び深度であることを条件に、
0:05:54	12号埋戻し動で11.35埋戻しで7地点を選定いたします。
0:06:03	25 ページでは、断面図にその液状化強度試験位置を図示しております。
0:06:12	続いて26 ページの第埋戻しどの企業か共同支店長代表性確認。
0:06:19	ですけれども、代表性確認指標の設定につきましては、
0:06:25	代表性確認指標としてテキストボックス中の三つの矢羽根。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:29	粒度分布細粒分含有率、せん断速度、
0:06:32	を考えていましたが、このうち、せん断波速度につきましては、
0:06:38	黄色ではハッチングしてますけれども、一般的に、
0:06:42	主に指図において地上化強度と相関が、
0:06:45	せん断速度見られ、認められているんですけども、まともりの埋戻度においては明確な相関関係が認められないと判断しましたので、
0:06:52	せん断波速度は代表性角に、
0:06:55	指標としては参考値として扱うことといたします。
0:06:59	また埋め戻しのN値につきましては、
0:07:02	以下の理由と二つ矢羽根でし書いてますけども、標準貫入試験を行った際に、
0:07:09	N値が過大に出してしまうことですか、或いは、空隙箇所を含めて、標準加入して行った際にN値を過小評価してしまうなどの理由から、
0:07:20	N値は指標として採用しないことといたします。
0:07:24	従って、埋め戻しの代表性確認指標としては粒度分布と、細粒分含有率を選定いたします。
0:07:33	代表性確認結果につきましては、粒度分布及び細粒分含有率のいずれに、
0:07:39	つきましても、
0:07:41	液状化強度試験位置と、
0:07:43	その他の周辺調査位置について概ね
0:07:47	液状化強度試験位置のデータというのが、周辺調査位置のデータに、概ね範囲に含まれているというところで代表性。
0:07:56	を有していると。
0:07:57	評価いたしました。
0:07:59	なお設工認段階においては代表性確認指標に相対密度を追加して、改めて代表性確認を行いたいと考えてございます。
0:08:09	と27ページの砂層についても、
0:08:12	同様に、
0:08:17	ボーリングが実施可能であること等の条件。
0:08:22	をもとにこの
0:08:25	平面図で言うと7地点から、
0:08:28	試料を採取しています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:33	続いて 29 ページをお願いいたします。
0:08:37	笹生の代表性角につきましては、
0:08:41	代表性確認指標としては、
0:08:44	矢羽根の三つ、粒度分布と細粒分含有率、
0:08:47	あと生命、
0:08:49	を選定いたします。
0:08:52	代表性確認結果につきましても、このいずれの指標について、
0:08:57	つきましても、地上化強度試験位置は、周辺調査日と同程度の範囲であることから、
0:09:02	砂層の試料採取位置は代表性有していると評価しました。
0:09:08	続いて 30 ページ。
0:09:10	の液状化強度試験の追加調査位置についてご説明いたします。
0:09:16	当液状化強度試験の試料採取位置の代表性について検討した結果、今、現状の埋め戻しの調査位置では施設近傍での試料採取の観点から十分なデータを取得できていないと判断しまして、
0:09:29	データ拡充を目的とした追加調査を行うこととしました。
0:09:34	追加調査の位置につきましては、施工時期の違いであったり事情化検討対象施設近傍。
0:09:40	での現状の試験結果の有無。
0:09:43	及び 12 号炉 3 号炉の埋め立て整地工事及び取放水設備工事における施工範囲等を考慮して設定いたします。
0:09:51	藤さん 11 ページに、
0:09:54	追加の液状化強度試験位置、
0:09:57	を示してまして、
0:09:59	図中に示してます①から⑩の 10 地点を選定しました。
0:10:09	続いて 32 ページの李浄化協働試験結果と液状化強度特性の設定でございますけども、
0:10:19	液状化強度、1 合目ほど 3 合目を指導及びスワン層 S 造の起業者共同試験結果を示してございます。
0:10:28	このうち、梅本指導の結果につきましては、
0:10:33	えさ湿度に分類される埋戻動ってというのは黄色ハッチングで示してましてけれども、
0:10:39	組織に分類される結果は液状化強度特性、低く出てまして、一方でれき湿度に分類される液状化強度は、左室に比べて高い値を示す傾向があります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:52	なお設置許可段階における液状化強度特性は、客土層を1255年の3合目ご指導、諏訪普通のそれぞれの下限值で設定することを考えてございます。
0:11:08	藤さん13ページお願いいたします。
0:11:13	と液状化影響の検討方針。
0:11:16	全体の
0:11:18	方針ですけれども、
0:11:20	こちらと本編資料、ページと14ページの方で、また同様の記載をしているスライド。
0:11:26	ありまして、改めてそちらでご説明しようと思っておりますのでちょっとここでは割愛いたします。
0:11:33	ここまでの全体の論理構成を踏まえまして、
0:11:37	審査会合における指摘事項に対する回答。
0:11:42	を説明いたします。
0:11:44	藤。
0:11:45	資料戻っ。
0:11:47	ページ戻っていただいて2ページお願いいたします。
0:11:52	まず経緯と説明概要といったところで、
0:11:56	衛藤す。
0:11:58	昨年12月の審査会合においては、
0:12:00	一条家の評価結果として、
0:12:04	施設の耐震評価の解析手法、試料採取位置の代表性確認結果、
0:12:10	及び液状化強度特性の設定方針等について、
0:12:13	下の左側に示してあります内容を説明してございます。
0:12:18	本資料では、その矢印の右側に示しております、審査会合における指摘事項に対する回答①から④に加えて、
0:12:28	議場会での検討方針について説明いたします。
0:12:33	と3ページ4ページをお願いいたします。
0:12:38	この34ページでは、液状化影響の検討フロー。
0:12:43	絵を左側に示してまして、
0:12:46	主な説明項目における検討方針を、右側に示してございます。
0:12:53	右側に記載している検討方針では、指摘事項に対する回答及び、地上階での検討方針に関する説明事項の概要を示しております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:04	この右側の検討方針につきましては個別のスライドで、ご説明しますので割愛いたします。
0:13:13	続いて5ページ以降、審査会合における指摘事項に対するコメント回答をご説明いたします。
0:13:20	まず6ページ目の一つ目の指摘事項ですけれども、
0:13:26	まず一つ目の積事項は、液状化検討対象施設が改良地盤に囲まれている場合における地盤の液状化を考慮しない評価手法を選定する際の考え方について、
0:13:37	以下の矢羽根に示す内容を踏まえて説明することということで、回答としては、
0:13:43	議場化検討対象施設の選定及び解析手法の、
0:13:47	選定フロー。
0:13:50	以下に示す考え方に基づき、見直しております。
0:13:56	エミの見直した修正後のフローを次の7ページに示していますので、ちょっと7ページを見ながら、修正点をご説明いたします。
0:14:05	7ページをお願いいたします。
0:14:07	藤。
0:14:09	フローの見直した箇所を朱書きで示してまして、
0:14:15	まず判定丸3番につきましては、
0:14:19	液状化による側方流動と浮き上がりの影響の有無を判定する、このフローを追加しまして、
0:14:26	メリット受ける可能性がある場合、
0:14:29	は、有効応力解析を選定するフローとしました。
0:14:33	また判定の④番で、
0:14:36	液状化等の影響を緩和している。
0:14:39	と判定される場合には、理事、全応力解析と有効力解析。
0:14:45	を比較しまして保守的な評価となる解析手法を選定するフロー。
0:14:49	としました。
0:14:52	また、フローの左下の注釈2番、※2に示した通り、
0:14:58	判定③と④で、
0:15:01	有効量解析が選定される場合に、全応力解析と、
0:15:05	どちらが保守的な結果となるかを判断できない場合、
0:15:10	全応力解析と比較検討する。
0:15:12	という旨を記載しております。
0:15:16	続いて8ページ目の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:19	二つ目の指摘事項ですけれども、
0:15:24	こちらは施設近傍での追加調査について、
0:15:28	ご指摘でございまして、先ほどご説明した内容と同様になりますのでここではちょっと割愛いたします。
0:15:37	続いて三つ目の指摘事項が 10 ページ目お願いいたします。
0:15:43	と、この三つ目の指摘事項は、埋戻し動の粒度分布について、
0:15:49	以下に示す内容を整理した上で、梅野の複数の粒径加積曲線の敷地内における分布の傾向を分析して説明すること。
0:15:57	またその分析結果を用いて評価強度試験の試料採取位置の代表性確認の指標としては妥当性を説明すること。
0:16:06	こちらの指摘を踏まえまして、以下の表に示すような核種分析を行っております。
0:16:14	ここでの結論としましてはテキストボックスの一番下の二つの丸、
0:16:19	で示しております、
0:16:21	埋め戻し度は、三角座標による分類でマサ湿度及びREDY湿度で構成されております、
0:16:28	液状化強度は左室度で低い値利益率で高い値を示す傾向があります。
0:16:34	また粒度分布と液状化強度に相関が認められることから、埋め戻しの試料採取位置の代表性確認指標として、粒度分布を用いることは、妥当である。
0:16:44	と判断しております。
0:16:47	この表に示す各種分析のうち、
0:16:50	江藤下二つ、施策下の二つ以上です。ね下から 2 両粒度分布の傾向分析、
0:16:58	あと液状化強度試験結果の傾向分析につきましては、11 ページ 12 ページで、
0:17:04	ご説明いたします。
0:17:06	あと 11 ページをお願いいたします。
0:17:09	藤。
0:17:10	市岡ちょうど地点 1 における粒度分布の傾向分析というところで、
0:17:15	一条カトウ地点 1 における粒度分布、
0:17:19	を分析した結果、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:21	このグラフに示しております。
0:17:24	黄色の線。
0:17:25	これが液状化強度試験の供試体のうち、左室度に分類されるということを確認しております。
0:17:33	そして議事課長としての教授体の粒度分布は、
0:17:37	歴史都度、
0:17:40	実線で示したものです。ね歴湿度が多くを占め、一部さ湿度が存在している。
0:17:45	また、水市岡強度試験の供試体の粒度分布、ばらつきばらつきがあるんですけども、
0:17:51	利益率及び歳出とともに、
0:17:54	概ね、その他の周辺調整地、流動試験結果全体の範囲に含まれているということを確認しております。
0:18:03	12 ページの地上化共同試験結果の傾向分析ですけれども、
0:18:11	先ほどもちょっと触れたんですけども、れき質に分類される埋戻度の液状化強度は、
0:18:18	広範囲に分布しております。約 0.3 から 0.9 程度の範囲。
0:18:23	一方左室に分類される起業家京都っていうのは、利益率に比べて低い値 0.2 から 0.35 程度の
0:18:31	範囲であります。
0:18:34	三つ目の指摘事項に関する回答は、以上となりますので続いて 13 ページをお願いいたします。
0:18:41	四つめの指摘事項ですけれども、
0:18:45	液状化強度試験の資料採取位置の代表性確認指標として、
0:18:50	埋め戻しの液状化強度、せん断波速度の相関を用いることについてその相関の根拠としている文献の適用範囲、
0:18:59	に対する埋戻し同等の適用性を確認した上で妥当性を説明すること。
0:19:05	これにつきましては、
0:19:10	と埋め戻しの英気液状化強度と $V_s$ 数との相関について、
0:19:16	泊の埋戻し後各種文献の適用性を確認した結果、一定の関係で認められたんですけども、完全に一致するものではないことを確認しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:26	また、敷地内の埋め戻しのせん断速度と液状化町との相関について、一定の相関を確認できるものの、データのばらつきが大きく、明確な相関があるとまでは見えないと判断し、
0:19:38	しております。
0:19:41	当メモ埋め戻しの部位せん断速度と液状化強度に明確なそう明確な相関関係三つが認められないことから、
0:19:49	せん断速度を用いて代表性確認結果は参考値扱いといたします。
0:19:55	ですが、施設工認段階においては代表性確認指標として相対密度を追加して説明いたします。
0:20:03	14 ページお願いいたします。
0:20:06	藤。こちら最後の説明項目。
0:20:10	ですけれども、
0:20:11	こちら審査会合の指摘事項ではないんですけれども、衛藤液状化影響の、全体的な検討方針について、
0:20:19	ご説明いたします。
0:20:22	当施設の耐震評価に用いる液状化影響の検討方針は以下の通りであります、
0:20:28	まず設置許可段階においては、
0:20:30	イトウ埋め戻しの代表性確認指標。
0:20:33	今粒度分布と細粒分含有率を用います。
0:20:37	また、液状化検討対象施設の解析手法の選定においては、
0:20:41	有効量解析を選定する際は、全応力解析とどちらが保守的な解析手法であるかを判断できない場合に、
0:20:48	比較検討を行い、保守的な結果となる解析手法を選定いたします。
0:20:54	全応力解析を選定する際には、有効量解析と応力解析の比較検討を行い、保守的な結果となる解析手法を選定いたします。
0:21:04	有効力解析に用いる液状化強度特性は、
0:21:08	敷地全体の液状化強度試験からえられる液状化強度特性を保守的に設定することを基本としまして、
0:21:15	客土層へ12号目と3号めど。
0:21:18	素案演出の各層の下限值、
0:21:21	で設定いたします。
0:21:24	すべての机上検討対象施設近傍と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:28	また施工時期の異なるエリアにおけるデータ取得を目的としまして、液状化強度試験の追加調査を計画いたします。
0:21:37	こちらの液状化強度試験の
0:21:40	追加調査結果につきましては、設置許可段階でご説明する予定です。
0:21:48	また設工認段階においては、
0:21:50	この追加の調査結果を踏まえまして、
0:21:54	液状化検討対象施設近傍の
0:21:57	試験結果から、液状化強度特性を保守的に設定することを考えてございます。
0:22:04	また埋戻度の液状化強度試験の試料採取位置について、代表性確認指標として、相対密度を用いて代表性確認を行うとともに、
0:22:13	設置許可段階における粒度分布と細粒分含有率による、
0:22:17	代表性確認結果を、
0:22:19	妥当性を改めて確認いたします。
0:22:24	同資料の説明は以上となります。
0:22:28	はい。規制庁藤原です。鳥栖質疑に入りたいと思いますがちょっとその前に、
0:22:33	今回の資料について
0:22:36	内容がどうでしょうね。何か担当の方がまず作られた後、どなたか別の方で、全体を通した論理構成だったり説明の流れを、
0:22:48	見たりとか、されたりとかされていますでしょうか。まずそこをちょっと説明いただけますか。
0:22:58	はい北海道電力の辰田です。江藤担当と言ってるのは、土木の人間が作って部内で確認するという作業はしてございます。その担当者レベルとその、
0:23:11	上のクラスの人間がっていう意味ですけれども、
0:23:15	そういうチェックはさせていただいてます。はい。そしたらその内容は何かね例えばフローチャート例えば7ページとかの時にこのフローチャートの書いてある意味をすべてその上の方は理解して、
0:23:28	すべて内容が論理立ててであると。
0:23:32	設工認に至るまでそういうふうに
0:23:35	もう迷わず行けるといふふうに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:38	考えられていますかね。これ、1例なんですけど他にもちょっとロジック不足してるとこあんすけどまず7ページで言うとうどうでしょう。
0:23:55	はい。北海道電力の辰田です。ちょっといろいろ、この7ページのフローにつきましては、
0:24:03	社内でもいろいろ議論があったのは確かあって、そのいろいろな今の現物の構造物と、あと、これからどういういろんな対策工とか出てきた場合も想定してちょっと、
0:24:18	今これ当てはまらないものも実は、
0:24:22	あったりしてですね、そこちょっと今広めに何でも、こう、
0:24:26	ツガネ賄えるようなフローになっちゃってるところもあって、それで今、
0:24:34	社内でもこの議論があって、
0:24:37	ちょっと、
0:24:38	一部ちょっと修正をしなきゃいけないものを、実は
0:24:43	あるかなっていう状態ちょっと出してしまってるところもございます。
0:24:47	ちょっとご指摘の趣旨とちょっとかみ合っていないかもしれませんが、
0:24:53	ちょっと今広くやっていくとちょっと、
0:24:57	すんと落ちないところも実際あるのは事実でございます。
0:25:03	はい。ちょっとこれからその事実確認をしていく中で、多分ですねこら辺の、要は資料の作り込みがちょっと今足りてないところが、
0:25:13	見受けられてかなりちょっと事実確認内容が多いと思うんですね。で、要は何ですかね、できれば一番作り込んだ後にヒアリングするのが本当は別とかもしれないですけど、
0:25:25	今日は一応事実確認はしますんでその上で、どういうふうにやらなきゃいけないのかという、踏まえた上で今から事実確認等させていただきますし、あとちょっともう1点言うなればちょっと、
0:25:37	具体性がやっぱちょっと私も見えないんですね要は設工認で一体どういうふうな評価を目指しているのかというのがさっぱり見えないんですね。例えば女川の設工認とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:48	資料見ると全応力解析では、こういったばらつき数をやるとか或いは有効応力解析ではこういうばらつき係数をやる、±ワンシグマするとか、或いは、
0:25:59	そういったのが具体性がまあさっぱりなくて、単純に何か有効応力解析だけやりますでも何か全力もやります。それって、
0:26:08	何だろう、位置付けてどうなの設工認ですよ。
0:26:12	補足で確認した結果を添付でやるのかとか、
0:26:15	というのが、一切なくてなんか何となく、今なんかおっしゃったようになんか、何でもかんでもなんか盛り込んだがゆえに、何を説明したんだかちょっとわからなくなってるというのが、
0:26:25	現状ですんで、一応そういった点を踏まえてこれから質疑に入ります。じゃ、今回、質疑についてはちょっと幾つか分けてやります解析手法の選定という、さっき7ページに含めたやつ。
0:26:37	がまず1個あって、そのあとに12号を埋め立てると、3号埋め立てのゾーン分けに関する事をやります、三つ目としてはその追加液状化強度試験の必要性に関してちょっとやります。
0:26:49	そのあとちょっと論理構成液状化強度の設定に至るまでの論理構造、ちょっと何か今の数、論理構成本当に何か上の方が見られて、ずっと通ってるのかというのが、いまいちよくわかんないんでそこちょっと確認します。
0:27:01	あとは代表性の指標についてというところの細かいひび割れは、
0:27:06	ゆっくり調べて、例えば、
0:27:09	英語がかかっちゃって、何かエコーがかかっちゃってビジネスのこと、声が聞き取りづらいのでゆっくりお願いします。あ、失礼しました。はい。衛藤。
0:27:21	はい。ゲートではゆっくりしゃべります。はい。もう1回最初からと言いますと、
0:27:31	今回の事業者の資料については、余りにも何か広い範囲を説明してるがゆえにちょっと具体的に設工認で何をしたいのかが、
0:27:44	わかりづらい資料になってますのでその点に関して、これから事実確認をさせていただきますっていうのがまず一つです。
0:27:52	そのあとはちょっと今後のこれからのヒアリングの進め方についてを話させていただきました。ちょっと幾つか分、区分けをしてやりますまず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:02	解析賞の選定に関してはまず質疑あります。その質疑の終わった後に、
0:28:07	125 埋め立て炉と 3 号埋め立てのゾーン分けをやります。
0:28:11	3 番目に、
0:28:13	追加液状化強度試験の必要性に関する項目これ質疑しまして、
0:28:18	その時液状化強度数の設定に至るまでの論理構成、これをやります。
0:28:24	あとその次に代表性指標についての話をした上で、
0:28:29	そうだという、ちょっと区分をちょっと幾らかけてちょっと日混乱しないようにちょっと順番だけでやるという趣旨です。
0:28:37	はい、では質疑に具体的に入って参ります。
0:28:44	規制庁のイトウです。
0:28:46	江藤。まず、解析手法の選定フローのところをちょっとお伺いしたいんですけど。
0:28:52	最初に、北海道電力がこの解析手法の選定の考え方っていうのをどう考えているのかっていうのを、ちょっと認識聞い
0:29:04	を合わせてというか
0:29:06	こういう理解でいいのかっていうのを確認したいんですけど。
0:29:09	ええ。
0:29:10	以前の説明とカーを聞く限りでは、側方流動とかのその液状化の影響を受ける。
0:29:17	可能性があるようなものだから有効力解析の方が、保守的になるよねっていうのが想定されるようなものは、
0:29:25	有効力解析。
0:29:27	を選定するという事で、
0:29:31	その他、有効力解析等、全応力解析、どっちが保守的なのかっていうのが、よくわからないもの、明らかでないものは、その言う有効力解析と、
0:29:43	全応力解析の、
0:29:45	その比較によって、どう、どれを選択するかっていうのを決める。
0:29:51	という考え方。
0:29:53	なのかなと、私は理解していたんですけど、ここってまずわかってますかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:00	はい。北海道電力の兼子です。藤。はい今、須藤さんおっしゃった内容は、間に、認識のそこはないと思っております。で、
0:30:10	同意、
0:30:11	③の判定の③番で側方流動及び浮き上がりの影響を受ける可能性がある場合に、
0:30:17	有効力解析を選定するんですけども、例えば全応力と、どちらが保守的な解析手法。
0:30:25	であるか判断できない場合、
0:30:28	に比較検討を行うと注釈で書いてますけども、この判断できない場合っていうのが
0:30:34	例えばですけども、
0:30:36	液状化層がすごい薄かったり、局所的にしか分布してないような場合には全応力の方が保守的なんじゃないかという可能性も、
0:30:45	考慮して比較検討を行うということを考えてるんですけども、
0:30:50	現状今の泊のこの施設においては、
0:30:55	そういったものはないと考えてまして。
0:30:58	③で、すべて有効応力解析に、
0:31:03	流れていく。
0:31:05	と考えています。
0:31:08	規制庁の伊藤ですその基本、先ほど、こういう理解でいいですかって聞いたその内容が多分このフローでは全く読み取れなくて、今ご説明していただいた話も、
0:31:22	③でYesに進んだ後に、
0:31:25	何か※2の、この内容、
0:31:28	以前応力とどちらが保守的キー。
0:31:32	であるかが、判断できない場合っていうのが入ってきてるんでこれが判断できないものなのかどうなのかっていう判断を、
0:31:42	何か有効力解析に進んだ後にしてるっていうことなんですかね。
0:31:47	であれば、その※2の内容が、なんでこのフローに、
0:31:52	ダイヤの形で登場しないのかもちょっとよくわかってないんですけども、
0:31:58	えっと、それは何、何でなんですかねこの有効力解析を軸に、全応力解析との被告検討を行うっていう話なのかなとも思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:09	その閉ん、実際どう何を考えてるのかをちょっと教えていただきたいんですけど。
0:32:14	その結果的に有効力解析。
0:32:19	泊では有効力解析が、結果的に何か支出すべて保守的になるであろう。
0:32:26	ていう、その何か、
0:32:27	結果ありきでこれを作ったんですかね、ちょっとその考え方が、このフローだけではちょっと見えないんで教えていただきたいんですけど。
0:32:38	北海道電力の金子ですと、そうですね、確かに今、有効力解析。
0:32:45	2、一番左下流れた。
0:32:50	本当は友好振り返りが選定される前に比較検討を行うかどうかについていう、
0:32:56	フローが、
0:32:58	モール
0:33:00	べきなのかなと思いますので、例えば右側の全応力、
0:33:05	を選定する際に、全応力という抗力の比較検討を行うっていう一つフローが、
0:33:14	途中にありますけれどもそういうそういった形でちょっと、
0:33:21	フローの見直しを、
0:33:24	ちょっと、
0:33:26	検討したいと思います。
0:33:31	規制庁のイトウです多分
0:33:33	北海道電力が考えてるその考え方と、このフロー、多分合っていないと私は思うん、全然ここで表現フローで表現できてないと思ってるんでフローの見直しは多分必要なかなと思ってるんですよ。
0:33:50	それとあとちょっと事実確認なんですけどこの3出野に進んだ場合、
0:33:57	読んで、イエスなりノーなりで、
0:34:01	流れていくとは思うんですけど、イエスの場合は全応力と有効力で比較検討しますっていう話ですし、
0:34:09	で流れた場合も有効力解析で※がまたついていてそこで比較検討を行うって書いてあって、これって丸さん出野に流れたら、いずれにせよ、比較検討を行うんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:29	北海道電力の金子です。④でイエス、右側に流れた場合には、
0:34:36	比較検討を行う、自動的に比較検討を行うことを、
0:34:40	になるんですけども、
0:34:43	やはり④で下にN oに行く場合、
0:34:46	には、
0:34:49	どう、
0:34:53	※2のばかり書いている。
0:34:56	通りですと
0:34:57	どちらが保守的か判断できない。
0:35:00	場合に比較検討を行う。
0:35:02	なので、
0:35:05	あまりに進んだ時点で両必ず比較検討を行うというわけでは、
0:35:12	ないです。
0:35:15	規制庁の伊藤です。そうすると、この有効力解析に流れ着いたもの、④出野に行くなり、③でY E Sに行くなりしたものは、
0:35:27	有効力開始。
0:35:29	キーと全応力解析、どちらが保守的であるか判断つかないものなのかどうなのかという判断がもう1個出てくるってことですよね。
0:35:39	おっしゃる通りです。
0:35:42	わかりました
0:35:43	これだけではちょっと多分フローで、全くその意図が読めないと思うので、そこはちゃんと表現していただきたいなというのがございます。
0:35:53	それと、
0:35:54	そうすると、
0:35:58	③D sに進んだものが必ずしも有効力解析が保守的である。
0:36:03	というわけでは必ずしもないというのがこのフローで言いたいことなんですかね。
0:36:16	③でY e sで流れていったものも④でノーで流れていったものも、何か扱いがおんなじような感じになってるんですかね、今のこの状態だと。
0:36:29	北海道への電力の金子です。
0:36:32	そうです③D sの場合、豊04でノーの場合の扱いはもう、
0:36:36	同様に考えていまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:40	現状今の泊の施設でいうと、
0:36:45	液状化、地下水も地表面設定しておりまして液状化層も厚いって いうことから有効量解析をスルーすれば保守的な評価になると考 えているんですけども、
0:36:58	それこそ、今後、もし、
0:37:01	対策が増えるなどして、
0:37:04	液状化層が薄くなったりなどして全応力が保守的な可能性が出て きた場合に、
0:37:10	対応できるようにこの
0:37:13	フローの成り立ち、今後、※2 をつけさせてもらった次第です。
0:37:19	規制庁の伊藤です。衛藤。
0:37:24	現状で何かすべて包絡できるようなフローにしたいっていうイト ウ。
0:37:31	は感じましたけども、結局、
0:37:39	何ですかね空襲5 みたいなものも絶対出てくると思うんですけ ど、
0:37:45	必ずこの有効力、
0:37:48	解析。
0:37:49	の中に、
0:37:56	結局、
0:37:59	どういう考えしてんのがこのフローの中で見えないっていうの が、原因なので、
0:38:05	そこは表現、
0:38:07	お願いしますっていうのが、
0:38:10	今申し上げたいです。それと、
0:38:14	全応力解析の位置付け、
0:38:18	このパワポ資料でいうと2 ページ目か何かに、
0:38:23	今回の説明内容っていうので、
0:38:29	有効量改正期を行う際の全応力解析の位置付けを説明するって いうふうに書いてあって、
0:38:37	多分ここで説明されてないと思うんですよ。
0:38:40	これってんど。
0:38:42	どこにあるんですかねこの位置付けの説明っていうのは、
0:38:48	当北海道電力の金子です。須藤。
0:38:52	どうぞ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:54	他にこの1図形
0:38:57	該当箇所はこの※2の部分ではあるんですけども、
0:39:03	そうですねこの位と全応力解析。
0:39:08	FOMAは、
0:39:10	基本、有効利解析が基本で良いとは思ってるんですけども、補足的にというですかね補足的に全量解析と比較するっていう、
0:39:18	位置付けがちょっと、
0:39:21	もう説明できていないので、
0:39:26	この有効力解析を行う際の税務解析の位置付け。
0:39:30	ていうのを、
0:39:34	資料、
0:39:36	生かしたいと思います。
0:39:42	はい。はいお願いします。先ほど女川の例だったり、センコー、
0:39:50	PLANTの例とかも見ながらですね、頭にとかも見ながら、そこはよく整理していただきたいなと思うんですけど。
0:39:57	ここで今、このフローで流れているのは、
0:40:01	あれですかねその軸を決めたいっていう意味で、こう書いてるって理解していいんですけど、ここに流れ着いたものは有効応力解析を軸に評価していきます、こっちは全応力解析ですっていう話になってるんですか。
0:40:18	北海道電力の金子です。そうですね一番下に、有効理解関山或いは電力、
0:40:26	に行き着いた際には
0:40:28	す。
0:40:29	その解析表を基本ケースとして、補足と補足的に
0:40:35	もう一方の解析しよう。
0:40:38	比較検討を行うというふうな、
0:40:41	位置付けと考えています。
0:40:44	はい。何かそういった細かいす、設工認で説明するようなところも、何かイメージできた上でこれを作っているのであればそこもちゃんと説明していただいた方がいいかなと思うので、
0:40:57	そこはわかるようにしていただきたいなと思います。それと、このダイヤの中で観点って形で、
0:41:06	判断基準が書いてあったりもするんですけど、
0:41:09	ちょっとこの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:10	判断基準に則ったとしても今の選定結果、
0:41:16	そこがあるのかなとも思っていて今って、オク中関係の施設屋上 だったり前後施設とか、全部丸さんの
0:41:26	判断で、
0:41:28	と言えずに流れていってると思うんですよ。
0:41:32	パフォー資料だと後ろの方に、20、
0:41:37	3 ページですかね。
0:41:45	これって本当にそうなんですかっていう疑問もあるんですけど。
0:41:52	等、
0:41:54	また、
0:41:56	いや膨張てとかそういった、前後で推移だったり、
0:42:00	なんすか経営者岩盤に設置されてるとかだったらわかるんです よ。
0:42:04	そうではない。他の施設たち、たくさんあるんで、特に申し訳は しないですけども、そういったもの、
0:42:14	もう、丸さんの判断の中で有効応力解析に落ちていくようなもの たちなんですかね。
0:42:22	例えば、
0:42:23	その取水ピットスクリーン室って、
0:42:27	丸さんのな、何の判断基準で引っかかってイエスになったんです かね。
0:42:44	藤北海道電力の金子です。
0:42:46	当間マールさんでYESになるか否か
0:42:51	液状化層に接するかどうかというところを、
0:42:56	今はいずれの施設も③Dsに落ちているんですけども、
0:43:19	少々お待ちください。
0:43:34	例えばですねまとめ資料の投資なんか 32 ページ。
0:43:40	お願いします。
0:43:43	その他の施設も同様なんですけれども、
0:43:47	経営、
0:43:49	まず、岩盤納期、やはり地表面のKシャーがなくともですね少な からず側方流動、
0:43:57	影響というのはあると考えてまして、かつ浮き上がりの影響を
0:44:03	もあるのかなと。
0:44:06	いずれにしても側方にウエキ浄化槽、埋め戻し指導が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:12	制していれば、③でYESに落ちる。
0:44:17	という今、フローにな。
0:44:19	ているんですけども、
0:44:26	本当に部分的に規制庁の1で部分的に液状化、液状化層っていうのは液状化検討対象層のことを多分言ってると思うんですけど、活性して言えば、
0:44:37	もう有効力解析を軸に、進めていきますっていうそういう理解ですかね。
0:44:50	北海道電力金子です。衛藤は磯そうですねおっしゃる通りで、郡。
0:44:56	そういった場合にこういう解析をすることで保守的な評価になると思う。
0:45:01	て言います。
0:45:09	そのあとに、全応力解析か、有効力解析かの比較検討を行うっていうことですね
0:45:18	接していればもう有効量解析の方が保守的だろうということでそれを軸にして、そのあとに比較検討するかどうかという判断がまた出てきて、
0:45:28	全応力解析、そこに引っかかれば全応力解析との比較検討を行う施設になるっていう、そういう理解ですか。
0:45:35	他電力です。そうですね先ほどのフローにちょっと反映しきれてないっていう部分がまだちょっとあるんですけども、
0:45:45	液状化層に接しているかどうか、まず、
0:45:49	③五つにはなるんですけどもそのあとに、
0:45:52	その上で、
0:45:53	どちらかは、戦力という功労者保守的が判断できない。
0:45:59	判断できない場合かっていう。
0:46:02	その検討がまず、その次に来ると思ってます。
0:46:07	歩数どちらが保守的か判断できない場合、
0:46:11	に該当した。
0:46:13	時に最後比較検討を行う。
0:46:17	判断できる場合には有効力、
0:46:19	のみで、
0:46:22	良いと、そういうフロー。
0:46:26	考えています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:29	規制庁の伊藤です。はい。何を言いたいかわかりました何を表現したかったのかっていうのがようやくわかりました。
0:46:40	私からはとりあえず以上にします。
0:46:51	規制庁の三浦です。今、イトウとのやりとりを聞いてて、
0:46:57	私の理解と違うところがあるので、
0:47:00	多分、この7ページのフローチャートを見たときに、
0:47:05	北電が、どういうふう考えてるかっていうのは、
0:47:09	今言ったようにも液状化層も接してる、そういうのあれはもう必ず有効力を主でやるんだと。
0:47:16	土木構造物なんか地中に構造物が多いので、動圧が大きくなる、有効力を使った方が保守的な、
0:47:23	基本的には有効応力を使いますっていうのがこのまのフロー。
0:47:29	なんじゃないですか。
0:47:31	だから、そこには全応力という抗力で比較検討前に入れてしまうようなことをする必要がないと考えてるんじゃないですか。フローチャートとして、
0:47:40	考えられたんですか。で、
0:47:42	結果的に有効力でやってしまったんだけど、すごく構造物の特徴等で、
0:47:48	慣性力が出てくるとか、実際の水は地下水は、
0:47:53	設定した地下水も低いので、
0:47:56	そうすると、慣性力主体のものももしかすると地震力を組む可能性があるからそういう特異なものに関しては、前後力もやってみて、
0:48:05	比較検討をしますっていうんで、
0:48:08	フローチャートはそういう意味ではないんじゃないですか。
0:48:11	確認です。
0:48:13	当北海道電力兼子です。そうですね。この③で液状化層に接するかどうかだけだと。
0:48:21	自動的にイエスになってしまうんですけども、
0:48:25	間瀬っす。かつ、本当は地下水の高さも、
0:48:30	栄養要因になると思うんですけども、
0:48:35	液晶仮想に接していて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:39	一条検討対象層梅田に接していても実際の地下水位が低ければその全応力が保守的になる可能性も、
0:48:45	ある。
0:48:47	うん。だからそれ非常にレアなでね、基本的には、左側の軸で落ちてきて有効力に落ちてくるものに関しては、全力でチェックしなきゃいけないものは少ないんだっていう、
0:48:58	認識を多分持たれてんじゃないかなと思ったんですよ。
0:49:01	だからあえて右側に書かれてるように全応力と有効応力の比較検討するのはフローチャートに入ってこなかったのかな。
0:49:08	という思ってるんですが、その認識は正しいですか。
0:49:12	はい。北海道電力金子です。江藤。はい。その認識です。まず、
0:49:19	おっしゃる通りで
0:49:21	そこはないんですけども、そうですね。
0:49:26	そうですね基本的にこの③で左に流れた場合には、
0:49:30	有効力、
0:49:31	概ね有効力やる方が保守的になる。
0:49:35	場合がほとんどだと思っています。
0:49:38	す。
0:49:40	例外的に全応力が星になるような可能性も考えられる。
0:49:45	ものについては補足的にこの※2で書いてるような比較検討を行う。
0:49:52	井藤さんそういうことだと思うんですよ。
0:49:55	基本的には土木の丸さんのところですけどもちょっと話を、すいませんちょっと話がおかしくなってるんで。うん。どうぞ。いいですか。うん。
0:50:07	基本的に言うとね、大体わかっていてこのフローチャートで、
0:50:12	言えば、結局、結論 22 ページ、23 ページに書いてあるんですね。
0:50:18	まず 22 ページ見てもらうと全応力解析だけのもの。
0:50:24	いわゆる有効応力解析はしないものは、この二つだけだよということですよ。
0:50:30	基本的には、
0:50:31	地下水、
0:50:33	が十分に低かって、できる内容がないということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:37	23 ページ見ると全部有効解析になってるんで、全部有効に解析をしたと、皆さんように主体的に、
0:50:44	うん。
0:50:46	具体的に言えば基本的ですよ。議長会の可能性を否定できないので、
0:50:52	影響を否定できないので、有効解析、有効応力で、
0:50:58	液状化及びあとで出来てるんで、
0:51:03	あれですか、何か何かですよ。何かとか、その影響は有効解析だっって表現できないので、それを基本的に設計しますと。
0:51:15	補足的ではなくて、
0:51:17	その液状化強度特性は保守的に決めているので、必ずしも液状化起こすとは限らない。
0:51:25	なので、そういった不確かさを踏まえて、全交流解析を行って、
0:51:32	そういった不確かさに対する影響を設計に反映する。
0:51:37	これ設計としてやるってことですね、影響確認ではなくて、
0:51:41	そういうスタンスが、柏崎と伏見主務のスタンスなんですよ。
0:51:49	ただ、補足的だとかそういった話ではなくて、後の設計の範疇として、
0:51:54	ばらつきと同様に不確かさの、
0:51:57	範疇設計としてのスタッフの範疇としてですね、全力を行っている。
0:52:03	いうことだと思んですがやりたいのは、
0:52:06	だから、この7ページで書いてある※2で、JAグループとどっちで落とし込んで、どちらが保守的な堆積であるか判断できない場合はっていうことではないんですよ。
0:52:18	これはあくまでもをナガエってということで、
0:52:22	女川はそうなんですけど、それ以外の柏崎なんかではそうではない。
0:52:27	そうしないと、
0:52:29	女川どうしてるかっていうと、
0:52:32	有効力解析税務解析全部に対してですね。
0:52:36	全教室ですねパーツケースとか、そうしたプラスケース。
0:52:41	×掛けることの全基準地震等を、全力有効力全部すべてやって、その中で一番厳しい結果を、
0:52:50	抽出してくるっていうことになってるんですが、考え方として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:55	そこが多分、そちらの方がちょっと勘違いしていて、
0:52:59	なんで、
0:53:01	この大仲がそういうことになったのか。
0:53:03	それは、これ東北電力が全部の方が厳しい結果が出れば出るということ、
0:53:10	それ衆目いたからそうだったんです。なぜ自信持っていたかかってわかりますか。
0:53:16	いわゆる小中は液状化影響。
0:53:20	経験って言葉使ってるんですけども、
0:53:24	基本的には、包丁てより内側にあるものに関してはほぼ影響が起きないとしても影響は受けない。
0:53:34	ということが、地下水位低下設備のファクターとしては、というようにステップを期待する役割や効果が発揮されてそういった結果が全部出るという、
0:53:45	認識のもとでそういうことになってるんです。だから、
0:53:48	泊は違いますよね、いわゆる地下水位低下設備の体制。
0:53:53	ペイする役割とか効果は、だから、
0:53:56	おんなじ書き方では多分うまくないですよ。だから、
0:54:00	何をしたいのかわからないと、藤原井戸が言ったのはそういうことであって、そういうふうに認識してますか東北電力は、
0:54:08	佐藤先生、北海道電力さん。
0:54:16	北海道電力の高沢です。三浦さんにご指摘いただいた通りで、
0:54:22	基本は、有効応力解析でレアケースをまぜて応力、全部で解析しなきゃいけないものを作成決めなきゃいけないものもあるということ、
0:54:32	ちょっと今※2の書き方がすごいわかりにくいというかですね、ここはまさに主査冒頭私も申し上げたところで、ここは本当は、
0:54:41	最後に有効力決まって、補足で※2を打つようなところではないようなところもあるんですけど、ちょっといろんなことを考えるとこれを書いとくと申さできるなっていうところもありながら、そこがちょっとわかりにくくなって、
0:54:54	ただ、しまったところがございますので、
0:54:57	井野エザキさんのそれぞれ踏まえて、基本的には有効応力解析に流れる、もう⑤の下の⑤の方の流れですけども、02本全部やっとなるような話になっちゃってるから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:11	結局、③なんていないじゃないかって、②から下に流れて情報対象施設になったら全員を全血絶対やるんじゃないかと。
0:55:19	そういうフローに変えるんじゃないかって思っちゃうわけですよ、僕んと。
0:55:23	北海道電力の辰田です前、すべてを流行力と全力でやるつもりはございませんので、その辺をわかるように整理をさせて、整理をさす。し直したいと思いますのでよろしくお願いします。
0:55:39	それとですねさっき言っていたサイトウの話で報、
0:55:45	どういう形のフローになるのかわかり今後の展開でわからないんですが、
0:55:50	実態に合わせてくる新保が黄色になってしまうんだから余計なものはいらないのかもしれないし、
0:55:57	それはそちらの方の考え方で整理していただければ結構ですけども、ただね、
0:56:03	安定基準とかがすごく曖昧なんですよ。だから、
0:56:07	だから、基本的に体積はないんで、
0:56:12	液状化影響を、
0:56:14	を受けないと判断できるのは、明らかに受けないと簡単でいいと思うんですよ。
0:56:20	その判断基準をどういう判断基準にするのかっていう、7ページで、例えば、
0:56:26	④の
0:56:29	ですと、
0:56:32	観点というところで書いてありますよね。ここで判断基準の観点追加しちゃって、赤い箱が書いてあるけど、
0:56:39	それで判断基準になってないですよ。例えば、
0:56:45	対象施設が耐震性を有する。
0:56:49	改良地盤や隣接コードで接しているっていう話になっているんですが、
0:56:54	それらが基本的に、
0:56:56	どういう判断で、財政運営してるかって、
0:57:01	判断基準って決められますか。
0:57:06	お答えください。
0:57:16	北海道電力金子です。衛藤層で耐震性を有する改良地盤、
0:57:21	と書いても

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:23	定量的なことは何も言えてないのでもうちょっと具体的に定性的にもできないじゃないですかね。
0:57:33	どうでしょうか。例えば、
0:57:35	隣接構造物が、原子炉建屋耐震Sクラスであって、ぴあが李谷中。
0:57:42	また、接地率が低接地してる場合は、基本的にこの
0:57:50	影響受けませんよね。
0:57:52	そういった場合はあり得ると思いますよ。江崎さんすいませんちょっと江崎さんちょっと、音声が見られてしまいましたんで、もう一度すはご発言をゆっくりお願いできましたありがたいです。
0:58:04	もう一度最初から募集しましてちょっとびっくりされて、できます。
0:58:10	でも判断基準みたいなところ
0:58:12	耐震性を有する隣接構造物だったら例えば耐震Sクラスであって、
0:58:19	設置率が100%である場合とかですね。うん。なんかそういうことができると思うんですよね。で、改良地盤の場合は、
0:58:28	これ厄介で、
0:58:30	構成や、その強度及びその
0:58:35	改良範囲、
0:58:37	この三つのファクターで決めなきゃいけない。ただ、それは計算してみないとわからないっていうのがありますよね。ただ、明らかに、
0:58:47	解析モデルの動機、
0:58:50	を超える、または、
0:58:52	そのモデルの領域から考えて、十分な調査を持っている。
0:58:57	というのは、ある程度、
0:59:00	構造物住まい設備の対象施設の
0:59:04	埋設深さから、
0:59:06	普段から、中央面までの、
0:59:10	ただ、その距離、その横方向の距離が、その改良範囲でこう方向がどれだけあるかってのはある程度写真たりこれだけあれば、
0:59:19	問題ないよねっていえるところはあるかもしれませんがそうはか なり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:24	曖昧な定性的に判断していけそうだからといって、何か言わないんですが、
0:59:29	そうしたものをどういうふうにそちらがどう考えていらっしゃるのかって言うんですね、そういった判断基準が、
0:59:35	明らかに、
0:59:38	定性的に判断できるものなのかということを考えてかないと、判断基準の観点を追加したということにもならないでしょうし、
0:59:47	このフローというのはあまり成立しないのかなと思いますがいかがですか。
0:59:53	北海道電力の金子です。
0:59:55	そ、
0:59:57	確かにそうですね江藤改良多田改良地盤に接する
1:00:01	ていうだ形だと判断基準になっていないというところで、
1:00:05	どう、
1:00:06	どういう所共栄城店で、
1:00:09	明らかに
1:00:12	影響緩和しているといえるのかって言うのを、
1:00:16	具体的に、
1:00:18	定性的2な表現になってしまうかもしれないけど、ちょっとこの観 点のところに、
1:00:26	具体、具体的な名明記したいと。
1:00:30	思います。
1:00:32	規制庁の江寄ですが、
1:00:34	実際にね、それが、
1:00:36	6にあるんですかって具体的に提示してくださいっていうふうに整 理できました。
1:00:51	多分ね、難しいかと思います。
1:00:55	特に改良地盤においては、
1:01:01	そうすると、
1:01:03	柏崎タイプの有効解析を基本時期にした。
1:01:07	設計はミウラも行っていましたけど、そういう方向でするんであ ればそういうフローチャートにした方がいいと思うんですけど も。
1:01:24	対入ってますから、
1:01:26	結局ね、23 ページで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:30	ここでスクリーニングしてる時も全部有効力落ちてるんですよ。
1:01:35	だから土木系の構造物はもちろん建屋系は、液状化対象層がないのでいいんですけど、同構造物すべて有効応力がおっしゃってるっていうのが、
1:01:46	基本的にはこの右側のフローチャートを通ってるのがないってこと。
1:01:50	になってしまってるでしょ。
1:01:52	その辺がきちっと分析できてるのかな。
1:01:55	というようなところはちょっと疑問に思いますよね。いかがですか。
1:02:19	北海道電力の辰田です。今の三浦さんのご指摘と江崎さんのご指摘もそうですけども、次は③のフローから、どういう理由で、
1:02:30	分けられているかっていうところはちょっと、このパワポではちょっと見えてないので、
1:02:38	まとめ資料の中とかでも、どこにどういう理由で、
1:02:43	分、
1:02:44	比嘉和気淳だというところをちょっと分けてるところは、考えがございましたので、そこをちょっと補足するような形と、パワポヤノフローにも、
1:02:57	ちょっと、実際、分けた、
1:03:00	理由というところをちょっと整理したいと思います。
1:03:09	長ミウラですからヤマザキエザキの一斉に北海道電力をやろうと思ってることをフローチャートにきちっと落としていただかないと、多分審査側も理解やろうと思ってるのが理解できないし、
1:03:21	何かこれだけ見ていくと、この結論というのが、どうしてこうなるのかなってとこやっぱ結びつかないんですよ。
1:03:29	もう一度この辺のところ、ご検討をお願いしたいと思います。はい。北海道電力の田澤ですフローのこの分かれ道の検討をした、わかる判断したところがわかる。
1:03:41	ないようにさせていただきたいと思います。
1:03:43	以上です。
1:03:58	規制庁タダウチですけど、今大塩佐々
1:04:08	衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:11	ごめん。大丈夫イトウ君これは、すいません。今ちょっとおっしゃってたのはフローの中の分岐としてね、どう、どういうふう
1:04:21	に、 なってるのかどう何か明確にするような話が今あったんですけども、
1:04:27	今三浦とか江崎とかその前、イトウとかが指摘してたのはそもそもこの7ページのフローチャート自体、
1:04:36	が、
1:04:38	北海道電力がやろうとしてることをちゃんと表してるかどうかっていうところをちゃんと、
1:04:44	近江直してくださいよって話じゃないかなと思ってんですけども、ちょっとそういうことですかね僕もそう思ってるんですけども、どうなんですか。だからこのフローチャートを、
1:04:56	いやもういじらないんですよって話なのかそれともいじる気はあるのかないのか、それはいじらないならいじらないで構わないんだけれどどうもお話を聞いてると、
1:05:08	その先行事例の話とやっぱりサイト条件とかねそういったところがやっぱり、
1:05:13	泊は、それぞれ女川とか島根と違って違う条件だってあったりも、同じだったら違うところもあったりもするから、
1:05:21	そのところに見合うような形でちゃんと作り込みをまずしましょうよってその上でしっかりとその分岐するところの条件って何だろうなっていうそういう準備じゃないかなと思う。
1:05:34	ているんですけどそこんところの点はいかがなんですかね。
1:05:38	北海道電力の辰田ですちょっと回答が、わかりづらくてすみません。フロア変えるつもりはあります。
1:05:45	基本的には先ほど申し上げた、ほとんど土木構造物は有効応力解析。
1:05:51	建屋関係は、全応力、ちょっと一部、
1:05:56	比較しなきゃいけないものもあるんであればちょっとそこを補強するんですけども、基本的にはこのフローを変えて、ちょっとわかりにくかった今先ほど※2とか、④から右に行くラインだとかは、
1:06:07	7に応じてなくすなり、ちょっとだいたいやフローを見直すなりするところでカバーしていきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:15	以上です。
1:06:25	はい。規制庁藤山です。その通りはまた次回のヒアリングで更新数をいただければと思います。
1:06:35	ちょっと私の方が細かいところですけど7ページの
1:06:40	ですかね、①のイエスに言ってる観点と文章だけですけど、二つ、2行目の改良地盤、これ例えば、
1:06:48	この観点、上方下方及びそこに岩盤や改良地盤が半無限の改良地盤って言ってるんですけど実際は、岩盤を開削して、建屋をせ、例えばトレンチを設置しているその周囲をMMRで埋め戻すケースなのかなと思ったんですけど、
1:07:04	もしそれからその改良地盤じゃなくてMMRとかした方が、
1:07:08	いい気はしたんですけど、どうですかね。何か改良地盤ちょっと対応する意図がちょっとよくわかんなかったんで、記載だけですけど。
1:07:17	はい。北海道電力兼子です。そうですね。改良、改良地盤というよりはそうですねMMRルー。
1:07:25	の方が適当かなと思います。はい。
1:07:29	はい。それに期待改めたいと思います。はい、わかりました。要は岩盤とMMR両方で半無限みたいなイメージがあったんではない。
1:07:41	確かB I b IIの何かあれだったと思うんではない。そこはちょっとまたご検討くださいね。
1:07:47	もう1点だけちょっと、今回その建屋、この7ページのフローは建屋のみに一度建屋とかあと土木構造物かを限定していますけど、
1:07:58	例えば機器のFRSに観点。
1:08:02	というのは当然設工認の中では先行事例の方要は5名、
1:08:06	ものの方がやっぱ危機の影響というのは大きいと思ひましてやっぱそれはまた、機器への影響を確認するのはまた別で考えているというふうに理解していいですかね。今回あくまでも
1:08:18	建屋とか、土木構造物に、
1:08:21	限定したもの。
1:08:25	電力の辰田です嘘。その理解で構いません。まず拙論評価というところで、
1:08:33	お話になってます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:37	規制庁じゃないですわかりましたどっか何か注記かなんかで、衛藤牧野設計にあたっては何か基金、影響が大きいものについてはまた別途、設工認段階でちゃんと検討するというのはちょっと
1:08:50	記載をいただけたらと思います。
1:08:53	北海道電力の田澤さん追記をさせていただきたいと思います。以上です。
1:09:08	規制庁の谷口です。
1:09:10	先ほどの話がずっと出てるんですけど、
1:09:13	先ほど7ページに変えたフローに何気なく改良地盤っていう表現をしてる。今お話があったように、改良地盤はマーメイドロックも含んで、
1:09:24	何らかの形で改良してるということなんだと思いますけど。
1:09:28	これは詳細な一の図書なんか見ても、
1:09:33	マメで今お話が出てないように、
1:09:39	タンクの脇のところだけ、例えばマンメイドロックで固めてるっていうようなものはありましたけど、それ以外でどう、今、屋上の
1:09:49	車を、屋外の所、土木構造物なんかで、そういうものがあるような記載が出てないので、今言ってる改良地盤と言ってるものなのか何なのか。
1:10:02	やっぱりわからないんですね。改良地盤がある場合には、それを考慮に入れるって書いてあるんですけども、改良。
1:10:10	一番とは何ぞやっていうのは全然わからないので、改良地盤の定義をきっちりマンメイドロックなのか、一番置換コンクリートなのかわかりませんが、
1:10:21	先行例では置換ゴーストコンクリートって表示があったり、マーメイドロックと書いてあったりとかいろいろあるんですけど、その辺の定義をきっちりしていただいた上で、
1:10:32	具体的に地盤の改良の状況をきっちりわかるように説明し、示していただいて、その上で、それをどう考えるのか。
1:10:42	ていうことを明らかにしていただかないと、
1:10:45	結局先ほどのフォローも全部有効応力解析に全部落ちてしまって、
1:10:51	それ以外のところで対象、全応力解析でいってというのが出てこなくなっちゃう可能性あると思うので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:58	その辺をもう少しきっちり整理をしていただいて、説明をしていただくようなことは可能でしょうか。
1:11:09	北海道電力の金子です。
1:11:11	藤。
1:11:13	いや、今ご指摘いただいた通りそうですね改良、改良地盤なのかマークも含まれてるのかという言葉の定義というのをちょっとはっきり、
1:11:24	させた上で記載を改めたいと、適正化したいと思います。
1:11:31	北海道出てくるそうです。
1:11:34	エザキですけど補足してもいいですか。
1:11:38	はい。矢崎さんお願いします。
1:11:40	どのサイドでも申し上げているんですが、MRってこれは生きてるのはおかしいですけど、昔からですね。
1:11:48	いわゆる、
1:11:50	木曾檀消防のという、いわゆる岩盤の代替する本部の木曾だんだんですね。
1:11:56	その岩盤、
1:11:58	代替材料ですねだから看板とほぼ同等とみなせる、同等以上とみなせる。
1:12:05	オノを、下に敷き詰めているものを、通常MMRでいきます。
1:12:11	それ以外、例えば、
1:12:15	地中埋設物に関しては、当然予備をするわけで、汚れをした上で施設を作って、その
1:12:22	分を埋め戻すときに、フチセでオープンを出すのではなくて、コンクリートでノダと、ただ埋め戻しとコンクリート、
1:12:31	という役割ですよね。こうしたものは、今言った弓削酒匂君と、もしくは、
1:12:37	うん。
1:12:39	時間航空と。
1:12:41	というような識別をしております、
1:12:43	そう。
1:12:45	同じコンクリートの物質であったとしてもその期待する役割によってはその言葉の使い方を規定には変えてるってのは、
1:12:54	今までの審査実績になっているんです。私から以上です。
1:13:01	はい、北海道電力の田澤です今の江崎さんの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:06	ご発言も含め、踏まえて、ちょっと置き換えコンクリートMMR それすべて今風呂で、
1:13:13	改良地盤って表現させていただいてしまってるので、その使い分けちゃんとまとめ資料と合うように1回ちょっと1回整理かけて、定義づけさせていただきます。以上です。
1:13:27	はい。よろしくお願いします。
1:13:35	規制庁の三浦ですけど、ちょっと記載の話まず3ページ。
1:13:41	説明項目1ありますよね。これちょっと言葉足らずかなと思いますね。
1:13:47	フローチャートの見直しに従ってこの部分をちょっと直される必要があるんだらうなと思いますけど。
1:13:53	地下水や基礎地盤や周辺地盤の状況において液状化の可能性がないと判断されるのは液状化検討対象外とすると。
1:14:01	ただ液状影響が否定できない施設に関しては、下記による解析手法を選択するって、選定するっていうことですよ。
1:14:14	その解析手法の選定このフローチャートを見るとこれ両方とも、議場がカーテン劇場カー可能性があるってところの選択肢がなってますよね。
1:14:23	そういう理解でいいですか。
1:14:32	北海道電力の辰田ですその理解で、合ってますちょっと語りないですね言葉、少し記載を加えておいたらいいですね、今回受けないようにした方がいいと思います。
1:14:43	22ページ。
1:14:46	なんですけど、
1:14:49	これはちょっと建築の方に、
1:14:53	お聞きしたいんですけど。
1:14:55	建屋構築物建物構築物に関して机上検討対象外なってますよね。
1:15:01	それはそれでいいと思うんですね。
1:15:03	その時に用いる手法自身をと解析モデルは、
1:15:09	液状化対象外だから、SRまた埋め込みSRが用いられるっていうふうに理解して、
1:15:16	いいですか。
1:15:28	いいです今度聞いといてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:32	S R系とか、この間のちょっと話の時のバックの埋め込みS R用 いるっていうことがあったんですね。誰のモデルってのは必ず液 状化が入ってればアノモデルは使えない。
1:15:43	なので、
1:15:44	そういうことを理解した上で、
1:15:47	A3 建物構築物の地震応答解析モデルというのを構築されてるんで すねっていうふうに、
1:15:54	伝えといてください。
1:15:57	はい。今年は以上です。
1:16:03	はい、規制庁その他解析賞の選定に関して
1:16:08	W e bに参加の方、
1:16:11	いかがでしょう。
1:16:12	よろしいですかね。
1:16:14	はい。
1:16:15	じゃあ、次にじゃあ、12号埋め立てだとサンゴ埋め立てのゾーン 分けに関する質疑に入りたいと思います。
1:16:28	通常郷若狭です。
1:16:30	増額についてちょっと質問したいと思っております。
1:16:34	資料1-2。
1:16:39	近江。116ページを見ていただくと、
1:16:43	へえ。
1:16:45	添付の6のご都合図を見ると、
1:16:49	これって3号棟、12号炉目立てって書いてあるんですけど、
1:16:54	昭和59年11月11最終版を見ると、
1:16:59	3号の埋め立て範囲って偉い狭いんですよ。主、椎野阿南です。 それに比べて、
1:17:07	例えば114ページを見ますと、
1:17:11	これで1基、ピンクが12号、青が3号になってるんですけど、
1:17:16	これってどっちが正しいんでしょうか。
1:17:19	本当の埋め立て順番からいくと3号、
1:17:23	藤3号の埋め立てが何で114ページになると、こんな広がってる んでしょうか。
1:17:30	理由はよくわかんなくて、
1:17:32	て100、
1:17:36	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:37	ということ図で 122 ページ見ると、
1:17:42	これで 1 の埋め立て及び 3 号の埋め立て区分についてということを書いてあるんですけど、
1:17:49	これを見ると 3 の次の建設時の掘削範囲、
1:17:54	て書いてあるんですね。
1:17:56	だけ。
1:17:57	どう考えても、116 ページの図を見ると、
1:18:02	ピンクのところを、
1:18:03	もう入ってるわけですね、この 110、122 ページのこの線は、
1:18:09	そうすると、
1:18:10	構造物を作って埋め立てる時には当然、掘削した土 12 号の時です やった土をもう利用して埋め立てると思ってるんです。
1:18:22	ですから、本当のもうエリアを開けるとときには一井の埋め立てと 3 号の埋め立てっていうのは、
1:18:30	116 ページの方が正しいんじゃないですかっていう、いわゆる地盤 物性値という面から見ると、そっちの方が正しいんじゃないかと思 ってるんですけど、この点についていかがでしょう。説明の方を お願いします。
1:18:48	はい。北海道電力の辰田です。
1:18:51	江藤。今のご指摘 116 ページの、59 年 11 月のこの形のピンクの す。
1:18:59	土砂は、
1:19:01	衛藤さっきのページ、
1:19:06	122 ページの
1:19:09	青野。
1:19:11	と比較すると確かにピンクが、
1:19:14	消えてるように見えるんですけど、3 号機の建屋周りを作った時の 土砂は、1 回もう外に出してますので、
1:19:24	青に置き換わってるということで、間、理解していただいて構い ません。
1:19:29	3 号機用のうま土地造成したときに、
1:19:34	土砂をストックしておいて、建物つ
1:19:38	12 号の時代のピンクのものは外に出して、建物を作った後に、3 号の切り出した敷地造成したときの材料で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:48	戻したのでこの 110、122 ページの状態が、材料としては正しいという理解をしていただければと思います。
1:19:58	以上です。
1:20:01	そこら辺の経緯ってここに書いてないんですけど、
1:20:05	そう、そうでは北海道電力の辰田ですその辺の土砂移動度詳しく書いてませんので、
1:20:12	そこをちょっとあれですね、記載するようにさせていただきたいと思えますちょっとこのかんつう 122 ページの絵が正しいんだよというような、
1:20:22	結論書くようにいたします。
1:20:25	といいますのは 1 時ごと 3 号で物性値を見ると 12 号ほとんど佐賀県が多くて 3 号列記が多いので、そうすると、液状化とか物性を見ると、
1:20:38	かえって危険側にしてるんじゃないかと思われちゃいますよね 110。
1:20:43	16 ページの図なんか見ると、ということは、あれですねこの 122 ページの赤い範囲の I I んで当初埋め立てた 1 号の埋め立てとは全部外に出したと。
1:20:55	3 号の埋め立てと同様な土を、
1:20:59	大楠この間掘削の 2、それで埋め立てたという趣旨 C で間違いないということですね。
1:21:08	電力の田澤です。その理解で、その理解をしていただければと思います。以上です。わかりました。その点はしっかり文章に書いておいてください。
1:21:19	どうも誤解がないようにしたいと思います。はい、わかりました。
1:21:24	そうですね。
1:21:30	そうか。
1:21:32	清 100、
1:21:36	110 ページから 100
1:21:40	ページに、すいません、例えば 117 ページとか、
1:21:45	2、施工の話をして、3 号とか 12 号の埋め立て部分施工品質管理の話をしてるんですけど、
1:21:55	そもそも品質管理をしてるとすればですね、岩砕した時の粒度分布、粒度調整分布とかですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:05	埋め立て管理曲線、いわゆるCBRとか求めるようなやつやっていると 思うんですけど何でこれないんでしょうか。
1:22:13	普通は宅地造成でもやってるような埋め立ての基本的な流動粒度 分布協調性曲線なんかあると、その砂とかれきもどのぐらいの形 で見たとか、
1:22:26	よくわかるんじゃないでしょうか。それが液状化とかできるん ですが、これはやってないという理解でよろしいでしょうか。
1:22:33	北海道電力の辰田です。その敷地造成したの埋め立て造成する時 の管理としてはしていないのが現状で、
1:22:43	記録とかを用いるとこの表にある新藤らで負け矢田シアツこのぐ らいという形で、施工管理したというのが事実で
1:22:52	のが、この記載のものが、技術やった管理という理解です。わか りました。ということは、あれですね、やっぱり、
1:23:03	調査を綿密にやらないと、この敷地の物性のゾーン分けてのは かなり、
1:23:09	難しいという理解したんですけど、それでよろしいでしょうか。 北海道電力の辰田ですその通りです敷地造成は
1:23:18	あまり管理されてなくて、
1:23:20	構造物周りが水、吐き出し管理だとかをして、ちゃんとシンドラ ーで占めてるとい、そういう理解です。
1:23:28	ローラーでやる時の粒度調整して段階やって試験施工をやってモ ルテンなんか提案する書いてあるんですけどそれも記録がなくて これだけだったん。
1:23:39	という理解でよろしいでしょうか。
1:23:41	北海道電力の辰田でその通りです。
1:23:47	ないものはしょうがないんでこれでいきます。それで、あとです ね、いろいろ、
1:23:53	ボーリングをやるって言ってるんですけど、基本的に、
1:23:58	こういうのは広い範囲になれば、そのボーリングだけではなくてで すね、電気式のコーンとか使う、現地調査をやってですね。
1:24:08	そういうのを保安調査でやればかなり合理的にできてやれると思 うんですけど、
1:24:14	ちょっとれきの部分は難しいですけどその部分ならば、
1:24:18	1日に3ヶ所、深度20メートルぐらいだったらできて例えばこん でやれば、液状化の建築学会の基礎構造自身では建築液状化の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:31	大体の概要とかですね換算N値とか、F、FC細粒分含有率もわかると思いますが、そういうのを、広範囲にやった後にですね液状化を絞り込むとかそういうふうな、
1:24:45	ことは考えなかったんでしょうか。
1:24:49	北海道電力の田澤です。確かに電気式とか、ポータブルコーンとか使ってやる方法も考えたんですけども表層がやっぱり岩砕地盤で戻しですので、もう砂層というのが結構深かったりということころがあって、
1:25:04	あらかじめもう液状化試験一本で、それを広くとろうという考えで、調査を計画をして、試験位置の選定をしたというのが経緯でございます。
1:25:16	わかりました。じゃあ、ただこれからやっぱり試験ボーリング調査を主にやるという理解でよろしいということでしょうか。
1:25:26	はいその通りです。
1:25:29	ました。私からは以上です。
1:25:37	規制庁の谷口です。
1:25:42	基本的に今1人、住所やっぱり116ページのところの話です。
1:25:52	12号機能と、埋め立てでの整地の時に施工時期に施工範囲は、
1:25:59	当然本館の掘削されてるところは、岩盤があって、建物を建てた後に埋め戻しをしてるところがあるというスタンスですよ。
1:26:10	それで、それをイメージし、イメージしたものとしては、先ほど122ページが正しいんだって話をされてたんですけど、
1:26:21	やっぱり本館のところは、基本的2建物を建てた後には、上の主要建屋の周囲に入れるって形してると思うんですけど、
1:26:31	表記として、埋戻し動っていう形で、本館の部分も含めて色を言ってるんですけど、
1:26:38	これわあ、こういう書き方をした方がいいんでしょうか。
1:26:44	ていうのは、
1:26:45	結局埋め戻し度がある範囲っていうのは、先ほどもあったように液状化する範囲になる可能性のある範囲だと。
1:26:55	いう書きっぷりになるので、そういった場合に、本館掘削本館のところにあたっては、さっきフローの中で、
1:27:05	配布されたんですけど、表示の仕方として、
1:27:11	能登篠田部分の、
1:27:14	着色をここにしておくっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:18	いいのかどうかちょっと私もこれが、実際の掘削の状況等、違うように思われるので、
1:27:27	その辺の位置付けをもうちょっとわかるようにしておいたらどうかかなと思ってるんですけどいかが、いかがでしょうか。
1:27:34	はい。北海道電力の立田です。今のご指摘はあれですかね敷地造成で3号で埋め立てたのと、建屋周りは違うんじゃないかというご指摘ですね。
1:27:46	今この埋め立てた状況としては今一色にしちゃ、
1:27:52	デザイ方法、材料は一緒なんですけども、ほぼ一緒なんですけど、締め固めた状況が違うということですね、基本的に。
1:28:03	梅本穴戸の上に本館が建ってるように見えるので、そういう位置付けじゃないわけですよ。
1:28:11	ないから。
1:28:14	北海道、田澤失礼しました建物の周りにはもう、
1:28:18	同斜ないだろうということですが、失礼しましたその辺は表現、地上に出ているものとか、室梅本所長が表面的に見えてないものは、
1:28:28	表現修正いたします。そういった方がいいんじゃないかと1号も3号も同じですけど、位置付けとしてはそうじゃないかなと思うので、書きっぷりを一緒にして、そういう書き方にしておかないといけないかなとちょっと思ったんですけど。
1:28:43	こういうのも、
1:28:46	イトウ電力の田澤です資料全般的に今そうなってますんで、全体見て、修正させていただきます。はい。ちょっとありがとうございますに書いてください。
1:28:56	以上です。
1:28:58	はい。規制庁藤原です。ゾーン分けに関してウェブで参加の方も含めていかがでしょうか。
1:29:06	よろしいですかね。はい。
1:29:08	では次は追加液状化強度試験の必要性という項目に関して、質疑をさせていただきます。
1:29:16	衛藤。
1:29:17	大滝さん、関野よろしいでしょうか。
1:29:22	資料1-2の29ページを開いてください。
1:29:30	そこですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:39	29 ページ、21 ページです。
1:29:45	21 ページ開くと、この
1:29:49	3-2-1 の両括弧、
1:29:51	一部ともにですね、
1:29:55	貯留責任がないんですよ。
1:29:57	29 ページと、宇宙出てくる。
1:30:01	ですよ。
1:30:02	図面はね、ここで、この表の中に、その底流席が入っていない部分は、こういった部分があるのかっていうしなかったんですね。
1:30:18	周りは岩盤で、下が1番だけだけど、
1:30:22	多分書いておいて×、ここに記載する必要があるんじゃないかなと思ったんですが、いかがですか。
1:30:40	はい、北海道電力金子です。藤。
1:30:44	ちょっと
1:30:46	どこの国、
1:30:48	21 ページの方で、
1:30:49	過去潮流時期を含むという記載をしていない。
1:30:55	ちょっと、いいところがあるのか、ちょっと江藤。
1:30:59	ただ、それだけですが、今気づいたのは貯留堰だけなんですけど、それ以外の、そのあとの図面と、この表は、
1:31:10	整合性があるかどうかっていうところまで、綿密には見ていないので、そちらでもう一度、
1:31:16	図面と、
1:31:18	どこの所、
1:31:20	この対応は確認いただけますか。はい。北海道電力金子です。それでここに説明書いてる兵頭。
1:31:28	この図との総数整合一対一になってるかっていうのを、改めてちょっと今一度、
1:31:34	確認させていただきます。
1:31:38	それとですね、
1:31:41	都築。
1:31:49	いわゆる
1:31:56	29 ページから平面図上で見ていくと、
1:32:01	いわゆる、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:02	説明、
1:32:05	浸透分析、
1:32:07	組む取水口ってここにちょっと書いてはあるんですがそのときに、
1:32:16	その周辺でも、追加試験は必要ないんですかということなんですが、出席の取水口って、
1:32:24	いわゆるCクラスあるけども、止水性を保持するために、括弧SS、
1:32:30	最後考えてるはずなんですよね。
1:32:33	それと、それだけじゃなくて、
1:32:38	そういう等、傍聴席、貯留堰の水分価値水盤か何かを、
1:32:46	間接支持してる役員になっていて、前回お話ししましたが、そうすると、江藤Sクラス施設の観戦支持物でもあるんですよ。
1:32:55	そういったときに、
1:32:58	通常化強度特性を、この周辺で比較しておく必要はないのかっていう面があるんですが、そこちょっと事実確認させてください。
1:33:19	当北海道電力愛甲ですと、取水口、
1:33:23	の近傍での追加調査位置としては、
1:33:28	例えばそのまとめ資料の6、62ページ。
1:33:33	ちょっと小さくて見づらいかもしれないですけど
1:33:37	①番という追加試験箇所が
1:33:41	近傍の
1:33:43	データに長くものと考えています。
1:33:50	ただそれだけで十分ですかね。
1:33:52	この辺って割とばらつきが大きいですよ。そのあとで出てくる。
1:33:57	昨日からですね。
1:33:59	それがRになるとか、
1:34:01	2ナガタ、まだかかってないのかもしれないですけど、
1:34:15	そうです。
1:34:16	すいません、91ページ目。
1:34:18	ある意味わかってる要素、
1:34:21	やっていて、
1:34:22	2番、青い線ですというところで、
1:34:25	点数で入札されるのが悪い。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:31	ない。
1:34:33	それぐらいのところは、割とすごく前に上がってますよね。セツツも小さいですけども、
1:34:40	今、有井です。
1:34:42	終わって、
1:34:47	①というところ。
1:34:49	もしかすると、
1:34:52	より下がるとか、よりに、
1:34:55	ある意味でも、
1:34:57	伊勢、どこにある、この辺でもう少し密にかなり見つめる必要ないと思うんですけど、かなり必要ないんですけども、
1:35:10	ちょっと確認する必要はないですが、多分ここ、本番が点灯してしまうと、取水性確保できなくなっちゃいますし、
1:35:20	しかもその貯留堰への波及影響と、
1:35:24	分析の方を一部ですよ。
1:35:27	5、
1:35:29	木野碓井の施設の設備の、
1:35:33	感染進展までで、
1:35:39	今の
1:35:40	境界で十分見切れますか。
1:35:44	なぜかっていうと、
1:35:48	今これ、
1:35:49	通常の砂地盤だと。
1:35:52	それをN値で、
1:35:54	判断つきますよね代表性とかその辺の材料性として、もうこれ以上というのがあると動かないのかってことです。
1:36:02	この友利のタイプでは、ほとんど最終的に使っているんで、申し訳。
1:36:09	幼稚園関連試験で買って、理由を、
1:36:13	できないですよ。
1:36:15	それ考えると、簡易的な、
1:36:17	うん、試験方法で、
1:36:20	サイトウ設定そんな簡単に求め認めるのが今難しいのかなと、御社のご説明しようという申請書に感じてるんですけどその辺いかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:47	それでね、中尾さんが、私赤瀬さんが1回云々のところって、
1:36:54	実際は我々なんか1人の物性値が含まれてるのかなっていうのはもう疑念があって、なぜかというかr eナガタ砂系だ砂系と分離できるという話になっているので、
1:37:06	その形が導入されるだけじゃなくて、
1:37:09	最後の数だけが多くなればそれで、
1:37:13	いわゆる
1:37:16	自動化を起こしやすい原因になるんです。須崎さんもなくても電気の中に須永金井入ってれば、そんなに
1:37:29	大江戸田、大越安井と考えているので、そういう疑念が生まれてるんですが、
1:37:38	それ。
1:37:41	北海道電力の立田です。ちょっとすいません聞き取れなかったこともあってちょっと聞き間違えたら申し訳ございません。
1:37:49	パワーポイントの9ページがちょっとおっきい、追加資料の絵としてはいいのでちょっとパワーポイントの9ページで説明させていただくと。
1:37:59	今取水口の取水コードジャストポイントじゃないですけどちょっと主水路部分に入ってますけど、四角囲ってて、
1:38:09	①っていう黄色い丸のところで今追加調査を今しています。
1:38:20	それはわかってますそれだから、十分じゃないんじゃないかっていうところがない。
1:38:27	あるんだね、これって。
1:38:30	進ま系で分類されるわけでしょ。
1:38:34	アルミナをすでにとって、
1:38:38	一番、3号機の今既存である。
1:38:43	ウエキ状況特性で一番、
1:38:45	下限値を示しているわけですよ。
1:38:49	だから①。
1:38:52	とか、その辺ってかなり、
1:38:55	液状化を起こしやすい可能性が、材料を使ってるんじゃないですか。
1:39:01	可能性があるとしてできないですよ。うん。
1:39:04	それらを、例えば標準貫入試験とかで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:09	ある程度、マルチとアリーナで代表できるところは説明できればいいんだけど、
1:39:15	成長牽引試験では、
1:39:17	判断できないんですよね。その地盤の理屈として、
1:39:23	そうなると、
1:39:25	もう少し、
1:39:30	該当性が示せないんであればもう少し
1:39:34	別に、
1:39:36	議長強度特性を求める必要はないんですかね、ということなんですけど。
1:39:42	はい北海道電力の立田です。
1:39:45	ご指摘理解しました。①だけで不足してるんじゃないかというご指摘かなと思うんですけども、ちょっと①をやった経緯として、①で1ヶ所を計画してる経緯としては主水路床の囲ってる間、
1:40:01	もうちょっと防潮てより海側のエリアを、
1:40:04	一緒に埋め戻しをしているところでもございますので、この1ヶ所でいいかなというところなんですけど今のRE7の下限值相当ぐらいの値を示しているってところがございますので、
1:40:16	ちょっと検討はさせていただきますが、ちょっと状況を見ながら、
1:40:22	計画をちょっと考えたいと思ってます確かにこの辺は、ある伊奈がですね、
1:40:31	上が3号、埋戻しどうでしたの方まで12号のものがですね残ってるような場所でもございますので、ちょっと類7がちょっと不特殊なところがございますがその扱いも含めて検討させていただこうと考えてます。
1:40:45	ちょっと追加、これからも、このつかさらに追加の必要性も含めて考えさせていただきます。
1:40:54	よろしくお願いします。ちょっとその辺はですね、ちょっと、
1:40:58	疑義がちょっと残るので、はい。しての啓発文は、設置許可までにやっていかないと、
1:41:06	本人はつまり、
1:41:08	申請の期間の中に一緒にありますんで、その辺が必要、危惧されますので、ご検討ください。
1:41:14	続いて、阿久津。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:16	コメントさせていただきました。
1:41:19	江藤氏、資料1-2のですね、61ページ。
1:41:30	これは整理の話なんですけど、
1:41:33	この種第4-4-1表、
1:41:37	その中の真ん中辺りにあり、
1:41:40	いわゆる海水管だけですね、原子炉補機データ排水管だけど、
1:41:45	この追加調査、候補地が③④になっていますが、
1:41:51	ただ、これ、
1:41:53	最初のダクトって、延長距離が長くて、いわゆる、
1:41:58	そういうポンプ室に近い人はそれを接続しているのですISA近いところは最新でいて、そこから中間部というか、中核の中間階って、
1:42:11	現象プロペラに接続する日あたりが、
1:42:14	最西部、一番浅いところになるんですけど、
1:42:18	その参集を考えると、⑤番という、
1:42:22	どんどんその追加調査で候補の1人入ってるんじゃないですかっということなんですけど、いかがでしょうか。
1:42:39	井戸電力の田澤です⑤が海水がダクトの一番浅いところに位置しますので、表記としては0、海水がなくても評価としては、
1:42:49	①-③④⑤という表記で間違いはございません。
1:42:57	ちょっと修正をさせていただきます成分使用してますから、最西部ってもっとあれですね、原子炉建屋の脇ですよ。
1:43:05	はい、そうですね。
1:43:07	そう。だからそれは、⑤番で、
1:43:10	その近くに一番近いのかなと思ってますけど、
1:43:13	違いますか。
1:43:16	都丸さん。
1:43:20	感じ取ったんですよ。
1:43:22	北海道電力の辰田です表、61ページの方20304しかない、ありませんので、
1:43:29	⑤も海水管ダクトの最浅部のところに位置しますので追記をさせていただきます。
1:43:36	はい。よろしくお願ひします。
1:43:38	その辺、もう一つはですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:42	これは何か一番わかりやすいのは、資料1-4、コメント整理表に書いてあるんで、使わせてもらいますが、
1:43:49	そこ
1:44:01	ナンバーでいうと、7番とかですね、8、No.8番、No.8がある。
1:44:07	と同じなんで、うちの方を見ていただくと、
1:44:11	二つ目のポツの後半ですね。
1:44:15	いわゆる設工認段階の
1:44:21	いわゆる液状化強度特性は、保守的に完全注目、徹底することを基本としていって、問題はそのあとの話で、
1:44:30	各施設近傍に試験結果がある場合にはその結果から、液状化強度を保守的、
1:44:37	失礼します。ここに関してまずちょっと事実確認かなと思いますけども、
1:44:42	これって、
1:44:45	資料1-1には33ページから書いてあるんですよね。ただし、資料内の部分は書いてないじゃないですか。
1:44:54	どこ探したら見当たらなかったんで、それはちょっと探していただいていく必要があるかどうか。
1:45:00	あるんだけど書いていただく必要があるのかなと思います。
1:45:04	で、それはどう対応していただければいいんですが、
1:45:11	問題は、この各施設近傍に、
1:45:14	してて、
1:45:15	家がある場合にはその試験結果から、状況特性のご指摘、
1:45:20	設定するってあるんですがそれをどうやってするんですか。
1:45:24	それと、
1:45:25	前にある施設等においては、敷地全体の下限値を使うを基本とするということ。
1:45:32	神戸の宗。
1:45:34	方針として、
1:45:35	導入のステータスで、この
1:45:38	近傍のを、
1:45:41	試験結果もずっと言ってるんですか。
1:45:46	北海道電力の兼子です。まずは、そうですね
1:45:50	ちょっとまとめ資料とパワーポイントこの日、ヒアリングコメントを。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:55	この資料の中でちょっと表現が統一。
1:46:00	をされてない部分がありましたので、そこと表現を統一したいと思います。ていうのと、
1:46:06	衛藤。
1:46:08	まずこの設工認においてはまずこの下限値を基本とし、
1:46:14	というのは、あくまでもですね現時点においてはその各施設近傍において、試験結果がない。
1:46:22	施設っていうのもありますので、
1:46:25	こういう各施設近傍に試験結果がある場合にはっていうちょっと未来のことをそう想定して、ある場合にはっていうそういうそういう患者さんになってしまってるんですけども、
1:46:35	実際考えているのは、追加調査を経て、
1:46:41	施設近傍のマーケット、
1:46:44	かも踏まえてですけども、まず、ゾーン分け例えば構造物間にちゃんと閉まったところ、
1:46:50	なり或いはそれ以外の、
1:46:52	ところっていうゾーン分けをした上で、
1:46:58	そのゾーンごとに益パラを使い分けるっていうことを、
1:47:03	まず韓国公認では考えてます。
1:47:07	ただ、
1:47:09	例えば追加試験をした李
1:47:13	その追加試験結果がこれまで示してるかレンチと。
1:47:17	ほとんど変わらない。
1:47:19	ですとかまあ、ちょっと明確なゾーンあけがちょっと難しいって言った場合には、
1:47:24	補
1:47:27	一番保守的な今示している、最下限値、自然体の下限値を使うという可能性も、
1:47:33	あるのかなと思ってます。
1:47:37	以上です。
1:47:39	支店長です。多分その曖昧であって、
1:47:44	今日もございました。今回は超過で、この後半の話は入りました。一部の、
1:47:54	建物の
1:47:59	東海第2は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:01	先ほど評定車を使うというのがスケジュールからの劇場継続性のは、
1:48:08	田浦教授さんを使う。
1:48:10	強制的に増加するような費用特性を使うといった制限があって、ただ、
1:48:17	一つがクドウに関しては、加速度は調達して、そのうちで求めているので、
1:48:23	それをを用いると。
1:48:26	それん対した後、工認段階で、
1:48:30	基本的に、うん。
1:48:33	出られている既存の副長共同作成が、その施設の近傍周辺モデル、まだ提供範囲。
1:48:42	考えられる
1:48:47	2番ですね地盤の範囲。
1:48:50	代表であることを対等性があることを、
1:48:54	説明いたしますと言っていて、結局はできなくて、
1:49:02	岡村教授、田浦教授さを用いることになりました。
1:49:07	そういうこともあるので、決して認めないというわけではないんですが、
1:49:12	一番大事なのは、その場所にあったとしても、例えばさっきのだったとか、その施設がかなり延長が長いものがあったりした場合においては、
1:49:23	1点しかなかったならば、その全体施設全体での震源のものとして、
1:49:29	そこが、
1:49:31	来たと言われてるところが対象であるということ、
1:49:34	説明しなきゃいけなくなります。いわゆる、
1:49:37	N値とか何かで液状化というその小動物性としてそれが十分体系を示しているということを示さなきゃいけなくなってるっていうことは、
1:49:47	理解していますでしょうか。
1:49:54	北海道電力の立田です追加試験の結果を踏まえて代表性代表性指標を含めて大比較して代表性を示すというところは、
1:50:05	認識してございます。
1:50:09	以上です。なんで代表説明するんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:14	何の知見を用いて代表選手にしようと思っ てます。
1:50:24	等を北海道の金子です代表性を指名数、
1:50:29	指標、指標としましては後、工認段階では、
1:50:33	粒度分布とFC等、追加で今、相対密度、
1:50:38	を取得しようとしてますのでその三つ。
1:50:41	で代表性を示そうと考えています。
1:50:45	以上です。これ、用意範囲等でかなりあちこちと、
1:50:52	材料特性ですよね流動分布のその特性を見た上で、一番厳しい ところを選んでいって、であればある程度、かなり広い範囲で、
1:51:01	今日だけ、
1:51:02	がわかっているのですそのばらつきの程度もわかってくると思うん ですけど、1点しか求めていないところに対してそれで十分見えま した。
1:51:17	等のね、もう答えは言っておきますけど、例えば原子炉建屋と か、設計する上で、通常を
1:51:26	敷地全体でとったPSケースの結果を整理した結果はあまり用い ることがあって、Bが少なくて、
1:51:34	うん。
1:51:35	中の水系の影響も考えて考えてその制度に、
1:51:41	整理されたBSを使うようにしてます。ですから、
1:51:45	清竹下で、相当数の、
1:51:50	ベースケースを取った上で分別を求めている。
1:51:54	それに対してバランスを育てているっていうのは、そういう所なん ですね。だから、敷地Gの施設が、少なくとも、設置されてる 範囲で数点とってないと話にならないと思ってるんですがいかが ですか。
1:52:12	北海道電力の立田ですけども、医師1設備1点もしくは2点とい う話を今考えてるわけではなくて、
1:52:23	追加調査がいけば、ポンプ室前に返していただくとこれ、1石1体 で埋め戻しをして、同じ管理をしていますので、それで何点かで、
1:52:35	同じ起業家強度特性で、
1:52:39	海水管ダクトなりポンプ室なりというところの評価に使っていこ うということを考えてますので、一つに対して1点、つかないとい う結果にはならないように今整理をしようと考えてます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:56	江崎です。わかりました。ちょっと言いがたいですけどちょっと、
1:53:01	まず、どのような、この方針かとしてですね更新の成立性を今確認しようとしているので、こういった時の成立性が大事なんですよ。
1:53:13	不成立にならないよね。
1:53:15	ベースなので、基本的に言うと、
1:53:19	その設置許可の段階で、どのような、
1:53:22	エリアの整備をしようとしているのか。
1:53:25	それをある程度それから、
1:53:28	事務データですね。
1:53:31	してもしょうがないと思うんです。こういうですね、それはそれでも基本的な考え方とか、
1:53:37	どうやったら安全素案という安全機能を損なわない設計として、
1:53:41	設計方針となっているかという我々確認しているので、
1:53:46	まずはその考え方とか考えた事故どのような整理をしていて、実際には、具体的に言うと、
1:53:53	そう。
1:53:54	今、設置とかで考えられてるのは、
1:53:57	そうすると、
1:53:59	ということ。
1:54:01	進めていただく必要があると思うんですがいかがでしょうか。
1:54:07	北海道電力の立田ですちょっと後半基金、トレーンづらかったんですけども、
1:54:12	衛藤東線を変えましょうか、基本的に言うと、
1:54:16	いわゆる設計方針としての成立性は、
1:54:22	を判断しないといけないので、
1:54:25	ここに書いてある文面のお話を具体的に方針として起こしていただいて、その
1:54:31	落としたときに、その設置許可で今考えているそう。
1:54:36	運用の部分の、そういう部分ってのはどういうふうなものになるのかっていうのは、説明いただけませんかという、
1:54:55	北海道電力の辰田です量、理解してきますと
1:55:04	設置許可段階で、どういう分けをするだとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:10	というところでちょっとその辺は追記をさせていただきますけども、
1:55:14	ちょっと工認、先ほどの工認段階の区画施設ごとにと何かいろいろ、変な言葉があって誤解を招いたところもございますので設置許可段階での
1:55:26	評価の物も、この液状化共同性の使い方その評価の仕方というところちょっと方針を少し、
1:55:33	ちょっと不足したところがございますので、書き加えて、補強させていただきますと思います。あわせて後任の方もですねちょっとここに公認段階の記載の方も、今何をやろうとしてるかというところも、
1:55:46	含めて、追記をさせていただきます。
1:55:49	以上です。はい、わかりました。できればそのときに、さっきちょっと出てたと思うんですが、その際、エリアのサイズとしてはちょっと難しいという判断だというふうにしてもらえば、保守的に、
1:56:02	敷地全体で可決すると。
1:56:04	すごく聞こえたんですけど、それで間違いはないんですか。
1:56:08	クドウ電力の田澤ですその理解で合ってますはい。大丈夫です。
1:56:12	そしたらスプレッド多分そう診断行くんですよね。
1:56:16	そう。
1:56:16	不成立にならないけども補修になると思うんで、そこをしっかりと進言していただければ、
1:56:24	法人の
1:56:25	できますので、それをしっかりと記載ください。
1:56:32	私からは以上です。北海道電力の滝澤で了解しました。私たちは
1:56:38	許可段階での構造成立性を示すための液状化強度特性としてはその理解ですので、その辺の記載をさせていただきます以上です。
1:56:53	はい。衛藤規制庁藤原です。今の件ちょっとそれパワポの33ページの一番下の文章、ちょっとこれ私冒頭で一番最初言った、
1:57:04	本当にこれ、どなたかこの文章見られたんですかっていう話、私この文章を見て今、事業者が説明した内容を一切理解できませんでした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:13	で、まとめ資料に書いてあるかと言われたら、全然書いてないです。そういった面で今後、この丹金この資料つくれた担当者の上の方ってというのは、資料を見て、
1:57:25	これって何を言いたいのかとか、
1:57:27	そういったことをちゃんと見てもらってそのパウポで書いてある内容は具体的に、まとめ資料でどう階層
1:57:34	をもっと深くしたときになるのか。
1:57:36	というのはちゃんともうちょっと考えてやっていただけたらと思います。ちょっとこれはいいですよ。何か液状化の資料に関しては何か、かなりそういうのが他の資料、他の、
1:57:48	分野知る対津波とかと比べてかなりちょっと、
1:57:50	うん、足りてないと感じますのでその辺と徹底いただけますか。
1:57:55	同電力の辰田です大変失礼しました今後とも共通、今後気をつけたいと思います。
1:58:01	以上です。
1:58:04	はい。規制庁藤間ですあと私の方から資料1-2まとめ資料の方ですかね、この163ページ。
1:58:13	開いてください。
1:58:16	163ページにおいては、これ3号の方の簿BF3-2というボーリング柱状図がここで示されていて、
1:58:27	この青いラインはこれは粒度試験というところで赤いところが液状化共同試験をやってるところってなってます
1:58:39	青井都甲の中には砂礫に加えて、ちょっと上の方ですか、柱状図で言うと真ん中の方青い線でいくと上の方なんですけど、できまじりのシルト、シルト層ですかね。
1:58:49	ていうのがあってここの層って何か、要はデッキに比べるとN値は低いし、何か何となく液状化しそうな気がしますというか、多分液状化するような、そうかもしれないですね。
1:59:01	この地層ってどういうふうな広がりがあるんだろうとか、そういうどういうふうな強度なんだろうとかいうのがちょっとわからないんですね。ちょっと今追加液状化強度試験必要性という項目の中で今お話してるんですけども、
1:59:17	こういったところをまずずっと広がりがまずないのかっていうことと今後こういった、何ですかね、この柱状図近辺にこういった層がないか、もし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:26	要は広がりがなかったらこれは本当局所的だからとか、無視できるんですよとか、いうのもあるかもしれないけどこの辺どうでしょう。
1:59:34	どういうふうにならんと今、
1:59:35	事業者の方、心そう考えているのか、広がりという観点とその追加液状加瀬試験の必要性の有無、この件、説明いただけますか。
1:59:58	北海道電力の立田です。BF3の
2:00:03	に今ちょっと赤赤丸のところですよ。
2:00:07	その取水主水路の脇ってところですよ、
2:00:11	この高さ的にですね、結論的には局所的なものとして考えてます。
2:00:17	ちょっとその辺なぜ局所的な判断してるかっていうところが記載が抜けてますので記載はさせていただきますけども、
2:00:27	実態としてはこうこう設備構築中に、取水炉を作ってる時に、海側と陸側は分けて作ってて、
2:00:37	横切るく工事エリアを横切る時に道路を作った時に、それなりの水路の上を埋め戻した層がこのぐらいの負荷高さで、
2:00:50	そういう層が入ってるっていうのが事実でございますちょっと岩砕の事したもので、くすボックスカルバートの上にやらないで、
2:01:00	普通の路盤材みたいなものを入れて、入れたところがこの層ということで、横断的にはこのちょうど今、
2:01:08	空前ば
2:01:09	包丁での絵が、ごめんなさい、パワーポイントの9ページで、
2:01:13	いくと。
2:01:15	今のB、F3-2というのが、
2:01:19	3号の取水設備と防潮底がクロスしてるところがちょうどBF3-2なんですけども、
2:01:29	3号機の施工注目の防潮堤、空前ですけどこの防潮底のラインで、構内道路を作ってまして、工所用道路を作ってまして、そういう層が、
2:01:41	ここに反応してくるのは、しかるべき、
2:01:44	高さで位置で出てきてるというところが、
2:01:46	わかって分析ができてます。ちょっとその辺を補強させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:52	すいません。失礼しました。はい。今の説明すごいわかりやすいですね。今の説明というのは、当然まとめ資料のですね、179 ページに、
2:02:03	あると私は期待をしておりましたが、一切ありません。事業者が調べたことはちゃんと書いてもらっていいすかもしかしたらこれだけじゃないですよ。他に何か差し支えが一部あるところについて、
2:02:16	確か文章だけで広がりがないっていう、何か言ってんすけど、いや私なんか、そうなんですかっていうふうに、やっぱり感じちゃうので、そこはやっぱり、
2:02:26	我々が全くできるように、そう言った調べた内容は、ちょっと説書いていただけたらと思います。いかがですか。北海道電力の田澤です大変失礼いたしました追記いたします。
2:02:41	はい。衛藤規制庁フジワラその1だけちょっと記載だけ、これはもう記載だけなんすけどパワポの16 ページのですね。
2:02:48	16 ページの経緯の中
2:02:51	第4章という、四角囲いの中の右にある三つ目のマルの、これも本当日本語だけです
2:02:59	すべての液状化対象規模を予備の後で施工時期の異なるエリア液状化強度試験、向こう日本語だけですけど、これなんかちょっともうちょっと良いかも
2:03:09	ないように、
2:03:11	してもらっていいですか。
2:03:14	エリアに対してとか、
2:03:19	はい、北海道電力金子です。江藤そうですね16 ページのこの施工的な異なるエリア。
2:03:25	に対して、エリアにおけるとかエリアでとかM a a Sなんかで、江藤そうですね、香田辻井です。ですのでちょっと適正化したいと思います。はい規制庁、わかりました。はい。
2:03:37	その他追加液状化強度試験の必要性に関して
2:03:42	W e bの方も含めていかがでしょう。
2:03:46	よろしいですかね。はい。ちょっとじゃあ、ヒアリング2時間ちょっと始まって結果2時間以上しましたので、十分だけちょっと休憩させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:01	はい。規制庁藤原です。それではヒアリングを再開したいと思います。では液状化強度設定に至るまでのちょっと論理構成に関してちょっと、また私の方から幾つか確認させていただきます。
2:04:13	パウポの資料1-1のですね、26ページを開いてください。
2:04:26	26ページにおいてですね
2:04:31	流れ話の流れがちょっとすごくわかり、
2:04:34	ませんでした。
2:04:36	代表性、確認の指標を指標これをやりますというところはまずあった上で、真ん中の矢印矢印の方で、これを選定するで、なんていう質疑に代表性の確認結果、
2:04:52	ていうのがあって、代表性を確認する。
2:04:55	その下の矢印から試料採取位置は代表性を有していると評価する。
2:05:01	というふうに何かもうバシッと言い切っちゃってるんですね。
2:05:05	これってあれ、そうだったっけというところがあってですね、例えば30ページとか、
2:05:10	等見ていただくとですね、
2:05:13	バーボン30ですね、上の丸印ですか、その代表性について検討した結果、コレコレコレでは、十分なデータが取得できないと判断し、と書いてあって、あれ、さっき、
2:05:23	代表性という視点で評価して何でいきなり、
2:05:26	十分じゃないって言ってるのっていうところがちょっとロジックがおかしいと思います。
2:05:35	どうでしょうかね。これ私のちょっと理解はですね、ごめんなさいこれ北電さんの言い分だったら、違うと思うけど私の理解をちょっと申し上げますと、
2:05:45	ちょっと全体的に今回その粒度試験の結果っていうのはかなりばらつきがあったと思うんですね。その歴湿度も含めてさし面も含めて埋め戻しですよ。
2:05:55	そういったものとちょっと、やっぱ代表性確認指標だけだと。
2:06:00	代表性の妥当性を説明できないのかなと思っていました。これ私の理解です。こういった整理結果から、
2:06:07	ただ、埋戻しの大半は5歴が大半なんですけども一部に繋がる。
2:06:13	これの分析から判明してますと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:15	で、このスナッチ瓦れきに比べてやっぱりどうか劇場共同ちっちゃいだから、この下限値の直、
2:06:23	ウエキに対しても適用させる、要はかなり保守的な評価をやりま
2:06:27	す。というふうな、ただこれが全体的な保守的な評価となる設計であると。
2:06:31	こういった設計方針のもとだと。
2:06:34	要は、試料採取位置はちょっと現在の位置はちょっと、もしかしたら、ちょっと一部足りないところあるかもしれないですけども、各施設の近傍市でやるし、今後追加、
2:06:44	箇所もちょっと検討するし、そういったことから、全体的な、
2:06:48	強度試験の
2:06:50	設定の妥当性、
2:06:53	というところ。
2:06:54	に多分落ち着するのかなと思ってました様は、
2:06:57	これだけの試料採取位置の代表性、この 26 ページですか。
2:07:01	これ一にちょっとフォーカスを当てるというよりも全体的な設計としてそういうふうな形にするからですね試料採取位置はこれでいいんだとかいうふうなちょっと論理かなとちょっと私は思っていました。
2:07:13	それは私の考えなんすけども、ただちょっと今の事業者の少なくとも 26 ページだと、
2:07:18	有してる、ちょっと本当に有してるかどうか粒度試験、よく正直わからない。
2:07:25	ですし、
2:07:26	追加試験をやるって言ったならそれをちょっときちっと考慮した論理立てですか、というのがちょっと必要だと思いました。
2:07:35	どうですかねこの点ってちょっと何かもうちょっと何かロジック立てた
2:07:40	組み立て方をされては、いかがですか。
2:07:45	北海道電力の金子ですと、そういうパワーポイント 26 ページの、
2:07:49	町を最終社代表性有していると評価するというのは確かに企業の整理において、
2:07:55	代表捨てを有していると
2:08:00	事業者として評価、そういう話してたわけですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:05	確かに流動のばらつき、
2:08:08	が見られるという中で、間瀬。
2:08:11	それで、あと、施設近傍の、
2:08:15	までデータもない中でこれーが本当に太鼓の試験結果とか代表性を有しているのかっていう、
2:08:23	まず、
2:08:24	遠い。
2:08:25	高花井が見えてきたんでこの追加の試験結果。
2:08:30	データが不足していると判断し
2:08:33	データ拡充を目的としては追加支援をするっていう、30 ページのような記載になってるんですけども、
2:08:41	なのでそうですね 26 ページ。
2:08:47	ここで代表性有していると。
2:08:50	評価するっていう、
2:08:53	この記載をちょっと改めて、
2:08:55	もう、
2:08:58	この粒度分布と細粒分含有率だけのこの整理。
2:09:03	赤津 12 号、全体産業全体のこの整理、
2:09:07	においては代表性を、
2:09:09	有しているとは言えない。
2:09:12	のです。
2:09:13	かつ、近傍のデータもないので追加調査をします。
2:09:19	という名が 0。
2:09:21	が今良いかと思ったんですけども、
2:09:27	すいません、次っていうはい。
2:09:31	はいそうです。そのロジックをはい、再検討いたします。
2:09:37	はい。規制庁吉原ですわかりました。はいこちらの背斜に伝わったと思うんで、その点はよろしくお願いします。その中で例えばですね相対密度プガス締固めとか、
2:09:49	いう後そういったところもちょっと含めて要はここ、混合やるとかいうっていうのも含めてちょっとどういうふうに、設工認まで确实という方がちょっと
2:09:59	言ってもいいのかなと思ったりしてましてあとは、ちょっとこれ 1 点だけ、ちょっとこれやって欲しいなと思ってるのはですね。
2:10:08	ちょっと若干ちょっと論理構成と外れるかもしれないですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:12	今回液状化強度試験を試料採集した深度、
2:10:18	の資料を持ってきて、室内で試験やってると思うんでその時の
2:10:25	試験の拘束圧についてちょっとん中ちょっとどっか補足なりに、
2:10:30	まとめ資料下に記載、要は現位置での震度はこれで現地でどう扱 っ高それに対して拘束圧、こうやった、この結果がどうだったか とか、
2:10:40	いうのはちょっとどっか何がしか、
2:10:43	記載をしていただいて、その試験の妥当性なりの説明に一部追加 していただけたらと思います。本当にいかがでしょう。
2:10:52	はい。北海道電力金子です。そうです。現地で採取した深度のド アツー。
2:10:57	と、
2:10:59	試験場店の妥当性というのも、まとめ資料に記載したいと思いま す。
2:11:08	はい。衛藤規制庁中ですわかりました。それではこの論理構成に 関することって他に何か。
2:11:14	Webの方も含めてございますか。
2:11:18	よろしいですかね。はい。じゃあ次、代表性の指標についてとい うところで、質疑に入りたいと思います。衛藤。布田エザキ様。
2:11:27	お願いできますか。じゃあ、プラス方向は、
2:11:29	資料1の93ページをお開きください。
2:11:34	93ページの、
2:11:44	下から二つ目のポツですね。
2:11:47	幼少の液状化試験の知見、
2:11:51	試料採取位置について、
2:11:53	性確認の指標として相対密度を、
2:11:58	もうついたっていう話で云々って書いてあるんですが、今、
2:12:03	資料1-1にも書いてある、ありましたけど、26ページでした。
2:12:09	要素を妥当性確認が4月として、
2:12:13	その倉庫にちょっと追加していただくってのも結構なんですけど、
2:12:17	多分前、私の方でお話したコメントっていうか、お話をさせていた だいたのは、
2:12:23	その代表し成果台帳確認死亡という指標というのが、
2:12:29	以前、前回のヒアリングまでは、粒度分布と細粒分差概要部概要 率ですね、FC

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:37	だけだったんですね。それで、ある程度進め方での1回ヤマダわかるもの、
2:12:43	死亡はないのかということで、
2:12:46	具体例として、招待店も見さしていただきましたけど、
2:12:52	この状態ですって、それぐらいの
2:12:55	うちは形成する方ですね、常態化の人たちは砂の地盤面掲示板として、相対密度がある程度、
2:13:06	相関性があるということをお話されています。
2:13:09	どうぞです。ただ、これって、今回の隣の、
2:13:15	敷地地盤の地盤は、
2:13:17	岩碎で、砂もありますけども、
2:13:20	うん。
2:13:22	いわゆる岩碎ってということもあるので、そのままそれで適用できるかどうかというのはちょっと疑義があるなとちょっと思ってます、
2:13:30	実際にこれが相対物が下部使えるかどうか。
2:13:35	行政を許可時点である程度、
2:13:38	見通しをつけておく必要があるんじゃないかなと思うんですがいかがでしょうか。例えば、まず、
2:13:44	すでにフジタ試験を行っていることの、その代表的なところで、
2:13:50	その相対密度を、
2:13:52	することによって、ある程度差異がないとか、いうことは、
2:13:57	しておく必要があるのかなとは思いますが。
2:14:00	どう考えられますか。
2:14:02	北海道電力の金子です。須藤。
2:14:05	相対密度をまず指標として使えるかというところで、
2:14:09	岩碎、埋戻し泊梅本指導においても、基本的には、
2:14:15	相対密度が直接ダイレイタンシー巻きんに影響する。
2:14:20	AA因子なのかなと思ってるので
2:14:24	梅田にも一応適用できるとは考えてるんですけども本当に適用できるかその妥当性については、
2:14:29	そ相対密度と液状化強度の相関等をちょっと確認して、
2:14:37	相関があれば、これも相対密度指標として使えるっていうような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:43	そういった確認委員もしたいと思っています。ただ、ただいま現状ちょっと相対密度のデータっていうのが今、
2:14:51	不足しているので、
2:14:54	今相対密度を取得する値、追加調査というのも今計画してますので、
2:15:00	そこで取得した相対水と液状化強度の関係なりをちょっと分析して、
2:15:07	代表性核に指標として用いることが妥当なのかという、
2:15:11	その分析も行うたいと思っています。
2:15:14	以上です。
2:15:16	土本。
2:15:18	段階で、山九の
2:15:20	プロファイルは今度は詳細にまだ、
2:15:23	行政も含めて検討されたらいいと思うんですが、見通しとして設置許可である程度見通しがつけれそうです。近く段階の
2:15:33	設置というのは今まで、
2:15:43	北海道電力の立田です。
2:15:45	今の成果調査の一連の中で相対水を取ってまして、今、実は実際やってる最中のところがございます。
2:15:56	それで、設置局カーの期間の中では調査を終わりますのでその見通しというのと、あと、先ほどありました適用性というところも含めて、実示せるようなスケジュールで今考えてございます。以上です。
2:16:14	わかりました。これって、さっき話が、課題のお話の方で、
2:16:20	まとめて示させていただいたエリアの財物数か。
2:16:24	いうところで、この相対密度が使えるか使えないというと、雲泥の差になってしまうと思うんでその辺の話もですね。
2:16:32	ある程度わかった段階で段階的なんですか、こうしていただけますか。
2:16:38	電力の辰田です。了解いたしました。
2:16:41	よろしく申し上げます。私からあと、もう1点ありまして、同じく1-2の資料の124ページですね。
2:16:52	学部、これは
2:16:54	秋月事業家会合おっしゃるんですが、この124ページで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:58	粒度分布、代表性特認指導として、この選んだ理由がここで書かれているんですけども、
2:17:07	粒度分布について、この仕様として選定した理由として、公安施設の現状の、
2:17:15	自動解説を、
2:17:17	運用していないのはだったんだっていう議論があったんですから、これは、
2:17:22	そのイシタニはそれは書いてないでしょうか。
2:17:34	北海道電力にこれ申し訳ありませんちょっともう一度、
2:17:39	第124ページの記載でよろしかったですか。24ページでね、ルート工夫を
2:17:47	うん。
2:17:49	代表性確認しようと、ショートしてきますよね。
2:17:53	その理由として、
2:17:56	なぜ港湾施設のWEB増の基準解決を、
2:18:01	運用していないのかなと。
2:18:03	いわゆる工場施設の技術上の基準会議室ではないと判断を、昔から確か工場の設置、総合研修グループによって、サンダーできるというような、
2:18:18	判断基準がございましてですね。だから、いわゆるルート分布は、ある程度その設定値をやっぱ、
2:18:27	発生に、
2:18:29	相関性があるということで、記載されてるはずなんですけどその辺の話の時に書いていただいていたんですが、
2:18:36	そこは、
2:18:38	難波爾見があるんですけど。
2:19:01	杉崎ですと補足しますと、
2:19:04	そんな難しい話ではなくて、
2:19:07	我々、我々の審査外部に、
2:19:09	参考。
2:19:12	そして運用できる場所として磨いた当該施設の技術上の基準と町田下。
2:19:21	だったら何かミスして審査申請分析で結構用いられた基準なんですよね。そうしたら、結局、
2:19:27	に基づけば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:29	うん。
2:19:30	基づいてこれでいく。
2:19:33	というのが、さっきちょっと、
2:19:35	統括主任。
2:19:36	この相関性がそういう言葉。
2:19:40	裏付けができれば、
2:19:42	ホリプロ自体が信頼性が信頼性向上に繋がるのではないかなという話だけなんですけど。
2:19:49	はい、北海道電力金子ですと、
2:19:52	確かに今の記載はその基準を意識して、
2:19:55	書いたものではなくて、あくまで、
2:19:58	マーケット分析結果が粒度と液状化強度相関があった。
2:20:02	ていう事実を記載してるだけなんですけどその裏付けというか、
2:20:07	馬場に港湾基準、
2:20:10	ツカモトに、
2:20:11	ルビも、
2:20:13	それもちょうと追記させてもらって、
2:20:17	ついてちょっと検討して、
2:20:19	はい。
2:20:21	今のね。
2:20:23	言い方だけだとね、基本的には、
2:20:25	そこで、
2:20:27	北米が、
2:20:29	みずから考えた手法で判断したというでした。で見てくれないんじゃないですか。だけど、誘導の形には広く頻度分布を使ってみようか F o u n d e r が出ているということがあるわけですよね。
2:20:44	部分が回収し、あるべき、関与した監視に対応した時でして、そういったものをある程度、
2:20:50	参考にしてくれば信頼性は高いんじゃないですかという、
2:20:57	はい。北海道電力金子です。その基準に基づいて、
2:21:01	その基準の通り、粒度分布と液状化強度に相関があるということ
2:21:07	を、
2:21:07	追記することをまず検討したいと思います。
2:21:12	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:14	できれば、それを集めて、今の部分ではどういう成果というのは分析してください。以上です。
2:21:24	はい、了解いたしました。
2:21:31	はい。規制庁藤原です。ちょっと私の方から、
2:21:36	パワポの資料 1-1 の 26 ページのですね、
2:21:42	四角の
2:21:45	一番上の代表性し確認しようの設定か、これの中の、
2:21:50	二つ目の丸と三つ目の丸におけるそのす。違い、マグリットせん断波速度っていうのは今回認められないから、
2:22:00	ということで使う多分使わないと私はちょっと理解したんですね。で、
2:22:04	三つ目のマルだと NG っていうのは、使用しない。うん。
2:22:09	両方ともなんか私使用しないと思ってたところ、何かせん断波速度っていうのは何か
2:22:14	仲さん。
2:22:16	河内とする。何かちょっと N 値の扱いが違うんですね。
2:22:20	で、なんでこれ、使用しないって言わないのかっていうのはちょっと確認したいのが 1 点で、
2:22:27	例えばそのまとめ資料の 95 ページ、資料 1-4 ですか。
2:22:31	この 95 ページをちょっと見ていただくとですね。
2:22:35	94 ページからせん断波速度の確認書としての妥当性確認ということで、これ以前からついている資料があっといういろいろくどくど土地と文献の適用性だとか書かれててですね。うん。
2:22:48	なんか安間梨衣。
2:22:50	あんまり使わないでなんか、こういう資料で蛇足かなとちょっと思いつつ見たところ、この 97 ページとかを見てるとですねこの表の中で、
2:22:59	表にしましたかなんか適用性で三角 0 を、
2:23:03	つけてですね。
2:23:04	何かこれって、泊では使わないといけないので適用性のところに丸印ついているのとかがちょっとよくわからない。
2:23:12	だったり、
2:23:13	あとわあ、
2:23:15	109 ページかな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:20	109 ページでいくと、まとめ、3 ポツのまとめの 2 パラ目、また書きのところ、
2:23:28	追加の液状化資金を行う。ここでいいですよ。
2:23:31	この指標について、設工認段階で改めて通知する。またこれ、せん断波速度について説明するのなんか、許可でやらないって言ってたのにまたするのかちょっと思ったりですね。
2:23:43	阿藤。186 ページ。
2:23:48	186 ページを見たらですね、
2:23:52	これはせん断波速度に代表性確認結果。
2:23:56	これ 1%と 2%の決議は代表性があると。
2:24:01	考えられる。
2:24:04	なんかもう全部ちょっと、
2:24:06	何をやろうとしてんのかちょっとさっぱりわからなくてこれってどうなんでしょうねもう、
2:24:10	思い切って使用しないというふうに言い切らないのはなぜなんですかね。それとも何かこれ、こだわりがあっそうされてるんですか。
2:24:17	ご説明してください。
2:24:20	北海道電力金子です。藤宇井数は、ほぼ代表性確認資料にはもう使わんを使わないと
2:24:30	切り必達聞いたつもりとか言い切るつもりでは、
2:24:35	います。
2:24:37	ただ
2:24:38	これまでの経緯として指標に使えるんじゃないかっていう、
2:24:44	これちょっと、
2:24:46	候補に挙げてたっていう面もありまして先ほど N 値は、最初から使用しないことを考えていて、
2:24:53	N 値は、
2:24:54	指標として使うことを考えていたけれども、文献なりの確認した結果、
2:24:59	を使用しない。
2:25:02	ていうそういったちょっと記載の違いはあるんですけども、
2:25:07	そうですね藤田さんおっしゃる通り
2:25:10	もう全く BS 使う気がないんであればこの数、
2:25:14	後半について添付資料も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:16	ちょっと不要なのかなと。
2:25:19	思いますので、ちょっと
2:25:24	どこの廃止この部品に関する添付資料のちょっと要否についても ちょっと、
2:25:29	検討いたします。
2:25:32	はい。規制庁藤原ですわかりました。続きまして、まとめ資料の 116 ページで、これちょっと記載だけなんですけども、
2:25:42	以前なんかちょっと図の中に柱状図をちょっとプロットしてくれ たらなあという話は、つつたところちょっとなかなかちょっと やっていたけてないんでちょっとここをできれば、
2:25:52	自然図が一応何か、
2:25:55	記載いただけたらなと思います。この点いかがですかね。
2:26:08	はいまとめ資料の 116 ページで、要は施工段階ごとで、こういう ふうな何だろう。
2:26:16	範囲を守り増埋め戻しをしています。
2:26:20	私がちょっと前、前回か前々回のヒアリングで行った時には、柱 状図の新藤。
2:26:26	ある深度でちょっと弱い層が出てきてたらそれはこういった面は 年 2 度の影響があるのかどうかというのがちょっとわから ないので、何ていうんすかね。
2:26:37	うんもしかしてないかもしれないかもしれないけど少なくとも、 ただ柱状図の場所だけでもここで書いといていただかないと、 我々がその資料を見るときに、
2:26:47	他の資料を見ながら例えば建屋の位置との関係から、柱状図の場 所は概ねここかなっていう見ながらやるのは大変ちょっとわかり にくいしそもそも説明性が向上。
2:26:59	水が足りないと思ったので、何か別の資料でも構いませんけど も、ちょっと柱状図の位置とこの埋め戻しの段階がわかるよう に、何か
2:27:09	範囲、書いていただけたらなと思ったんですね。
2:27:13	趣旨は伝わりましたかね。北海道電力の辰田ですあれですね、柱 状ボーリング調査やった位置をちゃんと図示して、
2:27:22	ちょっとこれでちっちゃいので、大きいで、どこの地点でやって るかっていうのと、そのボーリングの番号が対比できるようにし て、わかるようにするというのと理解しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:35	対応いたします。はい。規制庁氏原ですわかりました形式ははい。まだ考えていただいてそれわかる資料があればと思います。
2:27:43	はい、じゃあ代表性指標に関して、その他ウェブで参加の方が増えていかがですか。
2:27:51	よろしいですか。はい。それ以外での項目に関して確認をします。
2:28:03	規制庁の伊藤です。荒。
2:28:05	すごい細かい事実確認だけちょっとしたいんですけど。
2:28:10	資料1-2の、
2:28:17	と、
2:28:23	右下のページで、
2:28:25	言うと、
2:28:27	31ページですかね。
2:28:32	ここで、取水ピットスクリーン室の断面図があると思うんですけど、
2:28:37	今、この上の図で入ってる、この青い癒しのところの断面っていうことなんですかね。
2:28:46	何かこの場所って、両サイドに、
2:28:50	防水液でしたっけ、ガーッとさらにその下はMMRだったと思うんですけど、
2:28:57	そもそも取水ピットスクリーン室ってもう防水液周りであって回りMMRなのかなとか思ってたんですけど、この
2:29:07	ままずやしが間違ってるっていうのを、
2:29:11	か一断面が間違ってるのか、ちょっとよくわかんないんですけどここら辺の事実関係を教えてもらえますか。
2:29:19	はい。藤北海道電力金子です。まとめ資料31ページの、
2:29:24	水ピットスクリーン室の衛藤。
2:29:28	確認等、あらため確認しますが、おそらくちょっと癒しの方がちょっと間違っていると思われまますのでちょっと、
2:30:04	はい。
2:30:13	はい、北海道電力金子ですちょっと再度確認して、
2:30:17	ちょっと他の施設も含めてこのヤシと、断面図が、
2:30:22	正しく整合してるかというのを確認して修正したいと思います。
2:30:26	はい。よろしく申し上げます。
2:30:29	私からは以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:32	はい。じゃあ、それ以外で鳥栖全体を通じて規制庁側からWebで参加の方も含めて何かございますでしょうか。
2:30:43	はい。
2:30:44	よろしければ北海道電力の方から何か確認、ごめんなさい
2:30:51	引き続きですけども、さっきタダウチを
2:30:55	こちらも言ったんですけども、
2:30:57	基本的2ロジックが非常にわかりにくいと思ってるんで、
2:31:02	その辺はですね、曖昧さを残さずに、
2:31:07	そうしっかりとしたわかりやすい資料を、
2:31:10	もう一度整理していただきたいと思ってます。以上です。
2:31:14	今の段階だと多分審査会合や書けるか難しいかなと思ってます。
2:31:24	はい、北海道電力の辰田です。その辺ロジックがちょっと今矛盾してるところと言い切れてないところとすとんと落ちないところがございますのでその辺見直ささせていただきたいと思います。
2:31:35	以上です。
2:31:38	はい。江藤規制庁千原です。それとヒアリングコメント回答リストの確認をさせていただきます。資料1-4に基づいてです。資料1-4、皆様お手元にご用意ください。
2:31:49	1-4の
2:31:52	IDの10月31-14ナンバーワンから進めていきます。これに関しては指摘した方が水沢エザキさん私となっておりますが、
2:32:03	これについては
2:32:05	いろいろ追加コメントが出たので審査を継続という形にさせていただきます。
2:32:11	よろしいですね。
2:32:12	はい、じゃあその次。
2:32:14	2番目。
2:32:15	これはエザキとミウラの方で以前コメントを出した件については、
2:32:23	内容はOKかなというところではありますが、
2:32:27	一部ちょっと記載適正化とか別途やっていただけるようお願いします。
2:32:33	その次へとナンバー3。
2:32:37	これはエザキが出したコメントについてなんですが、
2:32:43	これは何だ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:46	結局、ここって、
2:32:49	適正化しつつ鎌田彼らの考え方を、いわゆるフローチャートのところを整理してこないと。
2:32:55	そうお答えになってないんです。
2:32:57	そうですね。
2:32:59	はい。移行実績についてということから、小澤。
2:33:02	近藤さんです。
2:33:04	差別を考えたときに、田内も言っていましたけど、
2:33:08	そのままこんな持ってきているようなフローチャートが今、
2:33:12	ちょっと適用できないだろうという説明になってましたんで、その辺は含めてから考えれば、
2:33:19	ここはしっかり
2:33:21	再整理する必要があるから、いわゆるその、
2:33:25	整理だけではなくて、うん。
2:33:28	都庁の整備だけじゃなくてその北海道出るときに、
2:33:32	そう。
2:33:32	先行再プの、
2:33:35	位置付けを考え方と自分たちのサイト特性を踏まえて、
2:33:39	何が使えて、自分たちはその特性を考え方はどうすべきかっていうことがしっかり、
2:33:46	ドーム構築ができていないので、これは継続だと思います。以上です。
2:33:51	はい、では継続で入れていきます。その次のページいきます。ナンバー4、これは、
2:33:59	この内容についてははOKかと思しますので次にナンバー5にいきます。
2:34:04	ナンバー5についても、
2:34:07	ですけどちょっと、ちょっと個別のコメントっていうかニーズ確認したかったんですけど、
2:34:15	これ粘性部は、あくまでもP C
2:34:19	アノ。
2:34:20	年度間という年度分解両立で評価するって話があったんですが、
2:34:26	それでちょっとできる。
2:34:29	I Pという塑性指数は、図れてなかったんですけどつけっというのでちょっと確認があったんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:40	聞こえましたでしょうか。
2:34:44	はい。北海道電力金子ですちょっと少々お待ちください。
2:35:20	当北海道電力安孫子レスト年度分含有率の城店でも、
2:35:26	一応検討対象外になるっていうのを確認して今、
2:35:30	すし。
2:35:31	ちょっと、該当ページがですね。
2:35:36	S s - Fわかって、
2:35:38	そうです。塑性指数の上点でも、
2:35:47	そ敗訴性質でも対象外となることは確認して、
2:35:51	今っすので、
2:35:56	あればそれも書いてもらったほうが信頼性の向上率上がるんですが、
2:36:06	タグチサトウ。
2:36:08	いわゆる
2:36:14	どん
2:36:16	北海道電力ですけど、今回は提出していないんですけども以前提出していたまとめ資料のあと添付資料2というのに、
2:36:25	前石井層の、
2:36:27	選定についてまとめてまして。
2:36:32	衛藤。
2:36:36	と道路供試すいません。日本建築学会。
2:36:48	身長数字。
2:36:51	I、I Pがですね。
2:36:53	いや、
2:36:55	いずれも、
2:36:58	んとす。
2:37:02	とI PのDた。
2:37:05	衛藤。
2:37:07	以前提出資料で示しておりまして、
2:37:13	はい。で、データははいございます。
2:37:18	すごく、今、音声が入っているI Tは、
2:37:25	示せられさせられない、イエスかノーかで、
2:37:34	大道電力の立田です前の資料、資料にアイビー示してデータとれてますんで、今回改めて整理し直したというところで、ちょっと李須藤にもこのリストにも書いておいた方がいいですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:47	ちょっとその辺、フォローしておきます。
2:37:52	よろしくお願いします。
2:37:55	そしたらこのナンバー5については次回のこの回答概要に記載した上で、一応廃炉はちい。
2:38:05	にした上で、赤で追記した旨を書くような感じにしてもらったら多分、或いはもう1回ちょっとこの確認が不要かと思うんでよろしいですか。
2:38:17	はい。その次へとナンバー6。は、これは私が言ったやつですがさっき中房が指摘したように直線で分けられるだけ事実に関してはちょっと施工の実際の状況をちょっときちっと整理した上で、
2:38:31	再度説明をこれ継続でしていただければと思います。
2:38:35	次ナンバー7はこれは私の扱い。
2:38:40	論理構成はさっき私も言った通りちょっと足りてないところがありますのでちょっとここは継続とさせていただきます。
2:38:48	No.8はこれエザキのコメントで、
2:38:54	これはちょっとあれですね。
2:38:57	さっき各施設の1日圏にある場合について、一応追加コメントしましたんで、またここに関しては、
2:39:05	継続させてください。
2:39:08	はい、じゃあ継続でお願いします。じゃあ次、何、ナンバー9、
2:39:14	これは糸洲イトウのやつですね。井戸さんどうでしょう。
2:39:23	これはフローの
2:39:26	建物側ですかね、の方に反映されてると思うのでこれはこれですだと思えます。
2:39:34	はい、じゃあ量ということで、その次ナンバー10の方は、エザキとイトウのコメントですか。これは、
2:39:43	さっき越塚コメントエザキの方は追加コメントしましたんで、
2:39:48	継続させてください。
2:39:54	はい、藤イトウですけども私の方も改めてコメントを出してるところもありますので、
2:40:00	このフローに関してですね、いたしますので、これは継続ということでお願いします。
2:40:08	はい、じゃあ継続ということでナンバー11これも私が言ったんですけど一緒にしたんで継続ですね。はい。
2:40:15	コメントの確認については以上とさせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:18	今日のヒアリングについて北電の方から全体を通じて何か確認したいことございますか。
2:40:28	北海道電力伊達佐瀬ありません。はい。それでは今日のヒアリングは以上とします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。